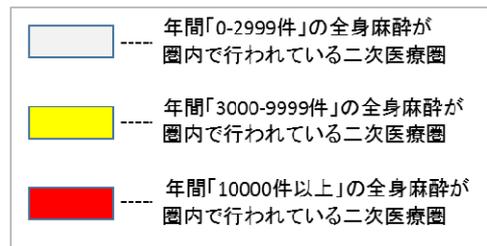
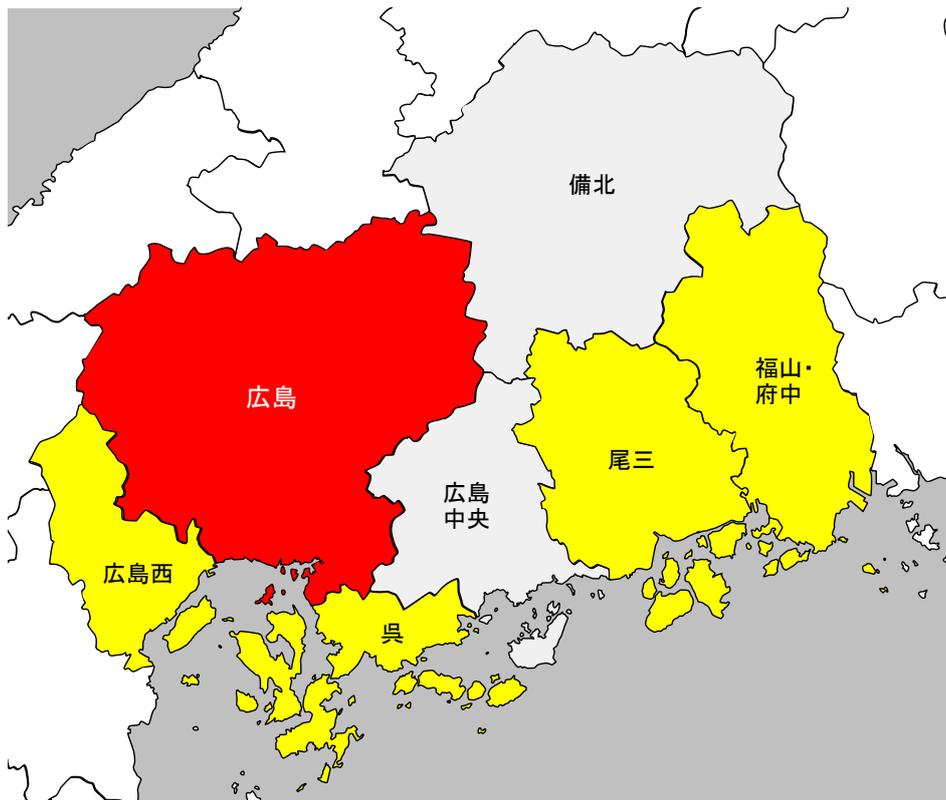


34. 広島県



目次

広島県	34	-	3
1. 広島医療圏	34	-	9
2. 広島西医療圏	34	-	15
3. 呉医療圏	34	-	21
4. 広島中央医療圏	34	-	27
5. 尾三医療圏	34	-	33
6. 福山・府中医療圏	34	-	39
7. 備北医療圏	34	-	45

広島県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は37,758人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,204人(20%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は254人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

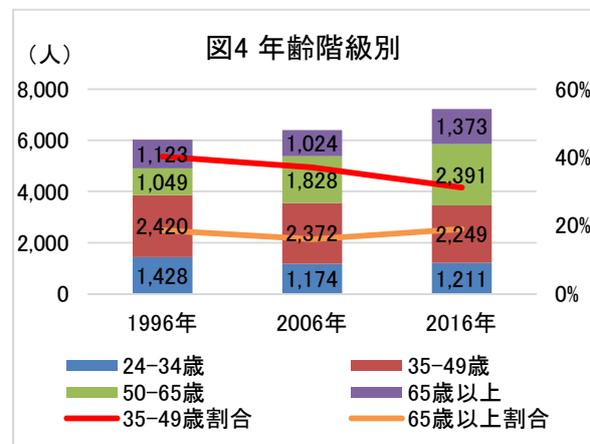
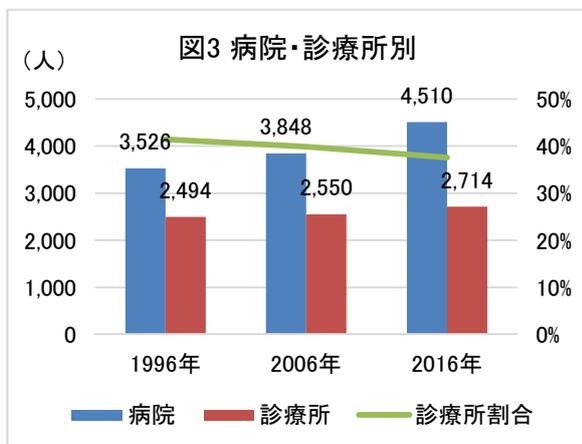
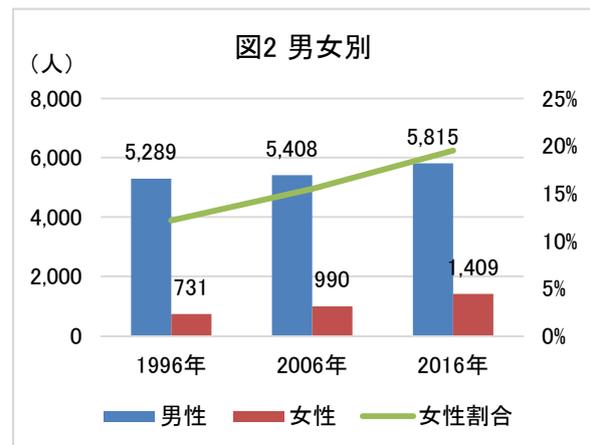
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて526人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に678人(93%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて984人(28%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に220人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は171人(-7%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて250人(22%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年19%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

広島県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,881,748	2,876,642	2,843,990	-37,758	-1%	-5,106	0%	-32,652	-1%	
総医師数	6,249	6,740	7,534	1,285	21%	491	8%	794	12%	
人口10万対	216.8	234.3	264.9	48.1	22%	17.5	8%	30.6	13%	
医療施設勤務医師数	6,020	6,398	7,224	1,204	20%	378	6%	826	13%	
人口10万対	208.9	222.4	254.0	45.1	22%	13.5	6%	31.6	14%	
男性医師数	5,289	5,408	5,815	526	10%	119	2%	407	8%	
人口10万対	183.5	188.0	204.5	20.9	11%	4.5	2%	16.5	9%	
女性医師数	731	990	1,409	678	93%	259	35%	419	42%	
人口10万対	25.4	34.4	49.5	24.2	95%	9.0	36%	15.1	44%	
病院勤務医師数	3,526	3,848	4,510	984	28%	322	9%	662	17%	
人口10万対	122.4	133.8	158.6	36.2	30%	11.4	9%	24.8	19%	
診療所勤務医師数	2,494	2,550	2,714	220	9%	56	2%	164	6%	
人口10万対	86.5	88.6	95.4	8.9	10%	2.1	2%	6.8	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	49.6	51.4	3.6	8%	1.8	4%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,428	1,174	1,211	-217	-15%	-254	-18%	37	3%
	35-49歳	2,420	2,372	2,249	-171	-7%	-48	-2%	-123	-5%
	50-64歳	1,049	1,828	2,391	1,342	128%	779	74%	563	31%
	65歳以上	1,123	1,024	1,373	250	22%	-99	-9%	349	34%
	75歳以上(再掲)	328	519	436	108	33%	191	58%	-83	-16%
男性	24-34歳	1,170	826	813	-357	-31%	-344	-29%	-13	-2%
	35-49歳	2,125	2,017	1,687	-438	-21%	-108	-5%	-330	-16%
	50-64歳	970	1,624	2,071	1,101	114%	654	67%	447	28%
	65歳以上	1,024	941	1,244	220	21%	-83	-8%	303	32%
	75歳以上(再掲)	290	472	399	109	38%	182	63%	-73	-15%
女性	24-34歳	258	348	398	140	54%	90	35%	50	14%
	35-49歳	295	355	562	267	91%	60	20%	207	58%
	50-64歳	79	204	320	241	305%	125	158%	116	57%
	65歳以上	99	83	129	30	30%	-16	-16%	46	55%
	75歳以上(再掲)	38	47	37	-1	-3%	9	24%	-10	-21%
病院	24-34歳	1,364	1,135	1,183	-181	-13%	-229	-17%	48	4%
	35-49歳	1,556	1,699	1,724	168	11%	143	9%	25	1%
	50-64歳	395	756	1,194	799	202%	361	91%	438	58%
	65歳以上	211	258	409	198	94%	47	22%	151	59%
	75歳以上(再掲)	81	108	112	31	38%	27	33%	4	4%
診療所	24-34歳	64	39	28	-36	-56%	-25	-39%	-11	-28%
	35-49歳	864	673	525	-339	-39%	-191	-22%	-148	-22%
	50-64歳	654	1,072	1,197	543	83%	418	64%	125	12%
	65歳以上	912	766	964	52	6%	-146	-16%	198	26%
	75歳以上(再掲)	247	411	324	77	31%	164	66%	-87	-21%
	85歳以上(再掲)	44	54	90	46	105%	10	23%	36	67%

広島県

<医師数の推移>

広島県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	6,020	208.9	53	6,398	222.4	52	7,224	254.0	52	1,204	20%	45.1	22%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	2,506	87.0	53	2,456	85.4	52	2,773	97.5	53	267	11%	10.5	12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	324	11.2	51	336	11.7	50	365	12.8	49	41	13%	1.6	14%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	250	8.7	52	312	10.8	52	370	13.0	51	120	48%	4.3	50%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	773	26.8	57	739	25.7	61	721	25.4	59	-52	-7%	-1.5	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	13	0.5	50	17	0.6	51	20	0.7	51	7	54%	0.3	56%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	46	1.6	50	63	2.2	51	62	2.2	48	16	35%	0.6	37%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	163	5.7	55	172	6.0	55	194	6.8	54	31	19%	1.2	21%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	431	15.0	54	500	17.4	55	529	18.6	54	98	23%	3.6	24%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	23	0.8	48	29	1.0	47	41	1.4	46	18	78%	0.6	81%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	166	5.8	51	172	6.0	50	209	7.3	51	43	26%	1.6	28%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	278	9.6	52	281	9.8	50	297	10.4	50	19	7%	0.8	8%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	226	7.8	52	209	7.3	51	226	7.9	52	0	0%	0.1	1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	109	3.8	49	125	4.3	48	138	4.9	47	29	27%	1.1	28%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	292	10.1	51	258	9.0	49	267	9.4	48	-25	-9%	-0.7	-7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	17	0.6	48	36	1.3	48	46	1.6	48	29	171%	1.0	174%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	115	4.0	52	124	4.3	52	150	5.3	50	35	30%	1.3	32%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	132	4.6	52	162	5.6	52	217	7.6	51	85	64%	3.0	67%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				29	1.0	48	57	2.0	47	28	97%	1.0	99%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				259	9.0	47	311	10.9	48	311	20%	1.9	21%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	156	5.4	52	119	4.1	48	231	8.1	51	75	48%	2.7	50%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

広島県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は345,305人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,294人(18%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は341人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

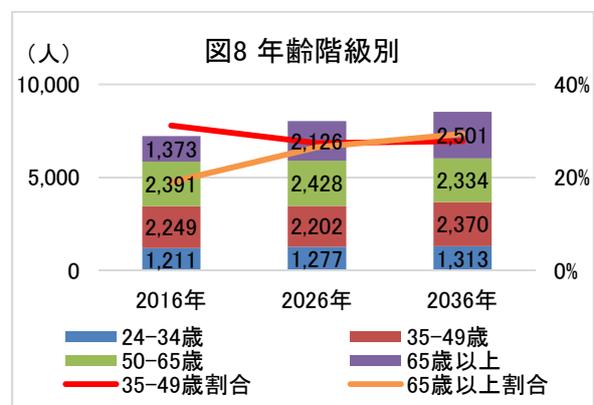
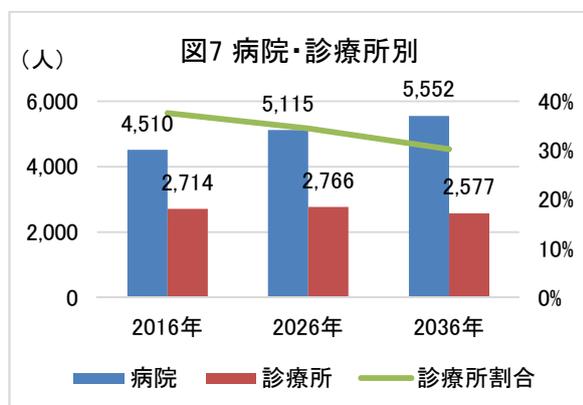
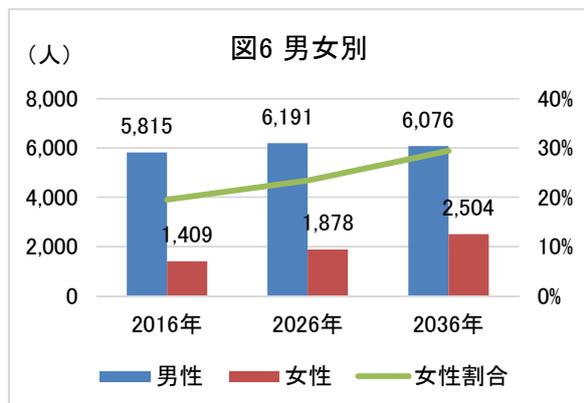
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて261人(4%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1,095人(78%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,042人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に137人(-5%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は121人(5%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて1,128人(82%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



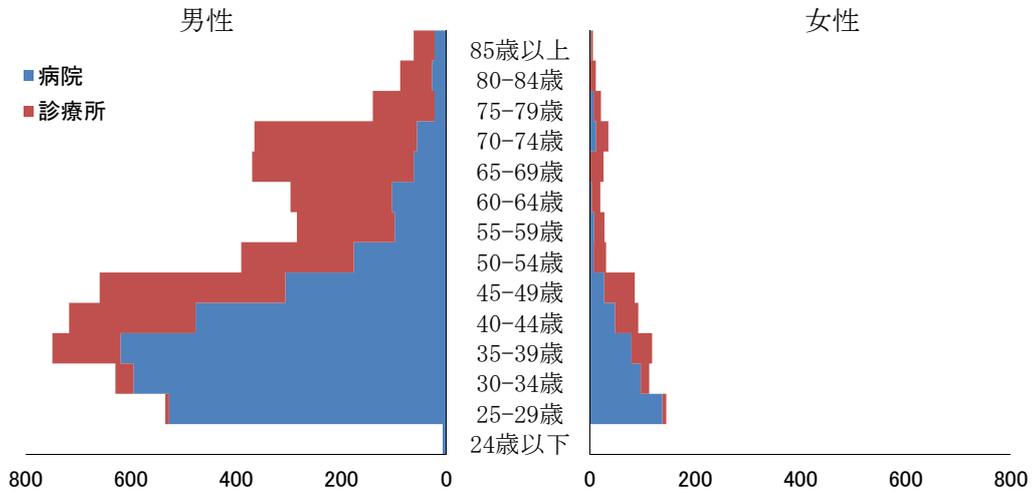
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島県

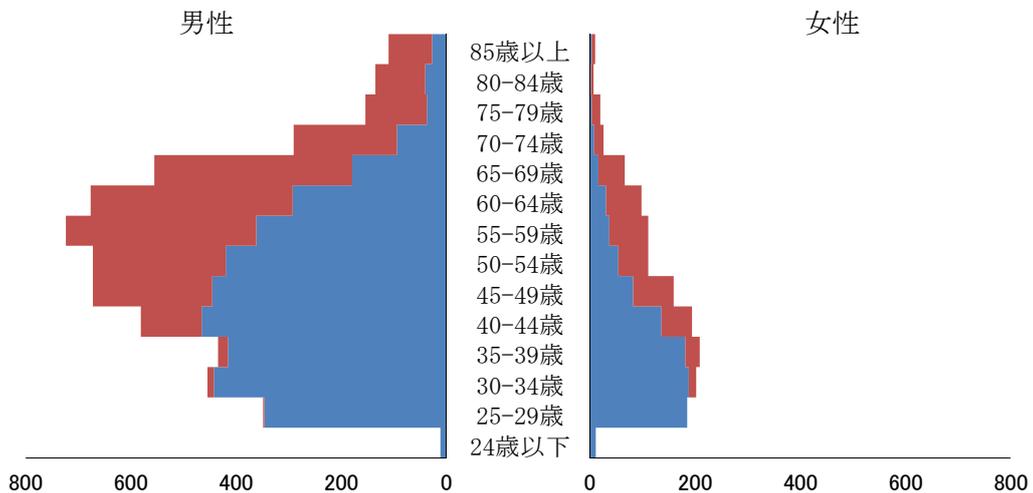
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

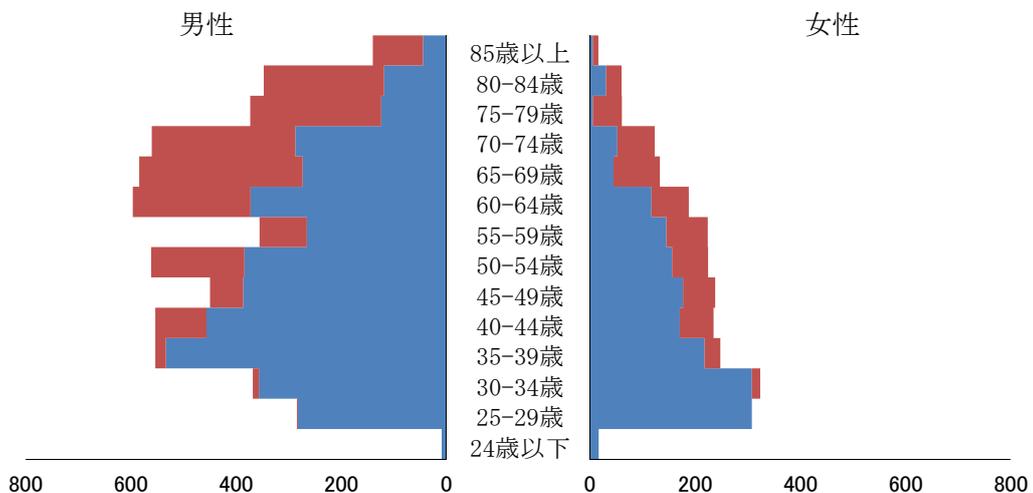
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,843,990	2,688,800	2,498,685	-345,305	-12%	-155,190	-5%	-190,115	-7%	
医療施設勤務医師数	7,224	8,033	8,518	1,294	18%	809	11%	485	6%	
人口10万対	254.0	298.8	340.9	86.9	34%	44.7	18%	42.1	14%	
男性医師数	5,815	6,191	6,076	261	4%	376	6%	-115	-2%	
人口10万対	204.5	230.3	243.2	38.7	19%	25.8	13%	12.9	6%	
女性医師数	1,409	1,878	2,504	1,095	78%	469	33%	626	33%	
人口10万対	49.5	69.8	100.2	50.7	102%	20.3	41%	30.4	43%	
病院勤務医師数	4,510	5,115	5,552	1,042	23%	605	13%	437	9%	
人口10万対	158.6	190.2	222.2	63.6	40%	31.7	20%	32.0	17%	
診療所勤務医師数	2,714	2,766	2,577	-137	-5%	52	2%	-189	-7%	
人口10万対	95.4	102.9	103.1	7.7	8%	7.4	8%	0.3	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,211	1,277	1,313	102	8%	66	5%	36	3%
	35-49歳	2,249	2,202	2,370	121	5%	-47	-2%	168	8%
	50-64歳	2,391	2,428	2,334	-57	-2%	37	2%	-94	-4%
	65歳以上	1,373	2,126	2,501	1,128	82%	753	55%	375	18%
	75歳以上(再掲)	436	693	1,056	620	142%	257	59%	363	52%
男性	24-34歳	813	857	661	-152	-19%	44	5%	-196	-23%
	35-49歳	1,687	1,524	1,661	-26	-2%	-163	-10%	137	9%
	50-64歳	2,071	1,950	1,649	-422	-20%	-121	-6%	-301	-15%
	65歳以上	1,244	1,860	2,105	861	69%	616	50%	245	13%
	75歳以上(再掲)	399	616	907	508	127%	217	54%	291	47%
女性	24-34歳	398	418	649	251	63%	20	5%	231	55%
	35-49歳	562	712	758	196	35%	150	27%	46	6%
	50-64歳	320	480	697	377	118%	160	50%	217	45%
	65歳以上	129	268	400	271	210%	139	108%	132	49%
	75歳以上(再掲)	37	75	137	100	270%	38	103%	62	83%
病院	24-34歳	1,183	1,249	1,283	100	8%	66	6%	34	3%
	35-49歳	1,724	1,766	1,906	182	11%	42	2%	140	8%
	50-64歳	1,194	1,389	1,402	208	17%	195	16%	13	1%
	65歳以上	409	711	961	552	135%	302	74%	250	35%
	75歳以上(再掲)	112	181	319	207	185%	69	62%	138	76%
診療所	24-34歳	28	28	29	1	4%	0	0%	1	4%
	35-49歳	525	356	362	-163	-31%	-169	-32%	6	2%
	50-64歳	1,197	1,007	764	-433	-36%	-190	-16%	-243	-24%
	65歳以上	964	1,375	1,422	458	48%	411	43%	47	3%
	75歳以上(再掲)	324	501	681	357	110%	177	55%	180	36%
	85歳以上(再掲)	90	71	107	17	19%	-19	-21%	36	51%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は61,386人(5%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は827人(27%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は282人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

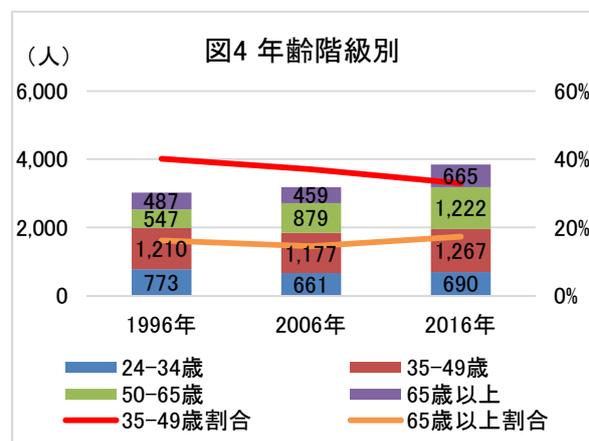
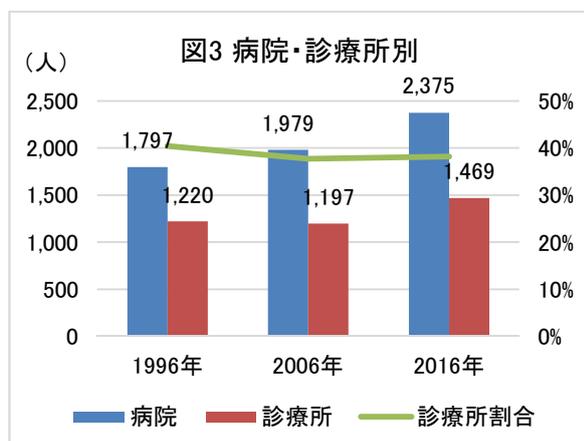
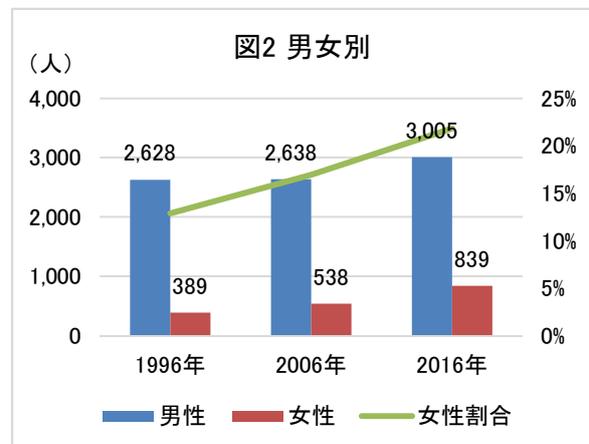
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて377人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に450人(116%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は22%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて578人(32%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に249人(20%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は57人(5%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて178人(37%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年17%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

広島医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,303,748	1,333,953	1,365,134	61,386	5%	30,205	2%	31,181	2%	
総医師数	3,176	3,391	4,028	852	27%	215	7%	637	19%	
人口10万対	243.6	254.2	295.1	51.5	21%	10.6	4%	40.9	16%	
医療施設勤務医師数	3,017	3,176	3,844	827	27%	159	5%	668	21%	
人口10万対	231.4	238.1	281.6	50.2	22%	6.7	3%	43.5	18%	
男性医師数	2,628	2,638	3,005	377	14%	10	0%	367	14%	
人口10万対	201.6	197.8	220.1	18.6	9%	-3.8	-2%	22.4	11%	
女性医師数	389	538	839	450	116%	149	38%	301	56%	
人口10万対	29.8	40.3	61.5	31.6	106%	10.5	35%	21.1	52%	
病院勤務医師数	1,797	1,979	2,375	578	32%	182	10%	396	20%	
人口10万対	137.8	148.4	174.0	36.1	26%	10.5	8%	25.6	17%	
診療所勤務医師数	1,220	1,197	1,469	249	20%	-23	-2%	272	23%	
人口10万対	93.6	89.7	107.6	14.0	15%	-3.8	-4%	17.9	20%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.8	48.5	50.5	3.7	8%	1.7	4%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	773	661	690	-83	-11%	-112	-14%	29	4%
	35-49歳	1,210	1,177	1,267	57	5%	-33	-3%	90	8%
	50-64歳	547	879	1,222	675	123%	332	61%	343	39%
	65歳以上	487	459	665	178	37%	-28	-6%	206	45%
	75歳以上(再掲)	132	207	208	76	58%	75	57%	1	0%
男性	24-34歳	631	463	448	-183	-29%	-168	-27%	-15	-3%
	35-49歳	1,045	986	916	-129	-12%	-59	-6%	-70	-7%
	50-64歳	503	773	1,051	548	109%	270	54%	278	36%
	65歳以上	449	416	590	141	31%	-33	-7%	174	42%
	75歳以上(再掲)	120	185	186	66	55%	65	54%	1	1%
女性	24-34歳	142	198	242	100	70%	56	39%	44	22%
	35-49歳	165	191	351	186	113%	26	16%	160	84%
	50-64歳	44	106	171	127	289%	62	141%	65	61%
	65歳以上	38	43	75	37	97%	5	13%	32	74%
	75歳以上(再掲)	12	22	22	10	83%	10	83%	0	0%
病院	24-34歳	741	646	671	-70	-9%	-95	-13%	25	4%
	35-49歳	780	850	953	173	22%	70	9%	103	12%
	50-64歳	188	373	586	398	212%	185	98%	213	57%
	65歳以上	88	110	165	77	88%	22	25%	55	50%
	75歳以上(再掲)	31	43	50	19	61%	12	39%	7	16%
診療所	24-34歳	32	15	19	-13	-41%	-17	-53%	4	27%
	35-49歳	430	327	314	-116	-27%	-103	-24%	-13	-4%
	50-64歳	359	506	636	277	77%	147	41%	130	26%
	65歳以上	399	349	500	101	25%	-50	-13%	151	43%
	75歳以上(再掲)	101	164	158	57	56%	63	62%	-6	-4%
	85歳以上(再掲)	21	16	34	13	62%	-5	-24%	18	113%

広島医療圏

<医師数の推移>

広島医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、小児外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,017	231.4	56	3,176	238.1	54	3,844	281.6	55	827	27%	50.2	22%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,185	90.9	55	1,148	86.1	53	1,399	102.5	54	214	18%	11.6	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	150	11.5	51	157	11.8	51	196	14.4	52	46	31%	2.9	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	124	9.5	54	159	11.9	55	200	14.7	54	76	61%	5.1	54%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	369	28.3	58	364	27.3	63	352	25.8	59	-17	-5%	-2.5	-9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	10	0.8	55	12	0.9	57	16	1.2	58	6	60%	0.4	53%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	23	1.8	51	31	2.3	52	33	2.4	50	10	43%	0.7	37%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	81	6.2	57	83	6.2	56	110	8.1	59	29	36%	1.8	30%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	202	15.5	55	257	19.3	59	278	20.4	57	76	38%	4.9	31%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	10	0.8	48	14	1.0	47	23	1.7	48	13	130%	0.9	120%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	96	7.4	56	90	6.7	52	126	9.2	56	30	31%	1.9	25%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	146	11.2	55	143	10.7	53	170	12.5	55	24	16%	1.3	11%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	125	9.6	57	111	8.3	54	128	9.4	57	3	2%	-0.2	-2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	58	4.4	51	54	4.0	47	65	4.8	47	7	12%	0.3	7%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	149	11.4	54	131	9.8	52	145	10.6	51	-4	-3%	-0.8	-7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	10	0.8	51	17	1.3	49	24	1.8	49	14	140%	1.0	129%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	75	5.8	58	63	4.7	53	91	6.7	54	16	21%	0.9	16%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	81	6.2	57	88	6.6	55	127	9.3	55	46	57%	3.1	50%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				22	1.6	52	37	2.7	51	15	68%	1.1	64%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				139	10.4	49	161	11.8	49	161	16%	1.4	13%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	123	9.4	61	93	7.0	54	163	11.9	58	40	33%	2.5	27%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

広島医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は98,769人(-7%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,072人(28%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は388人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

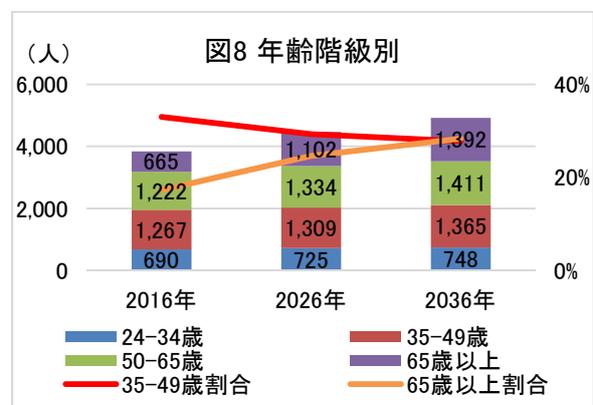
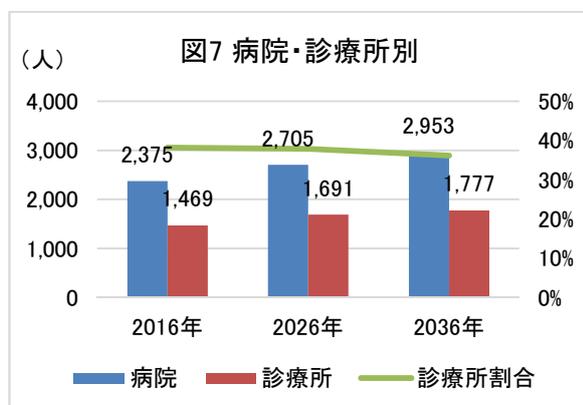
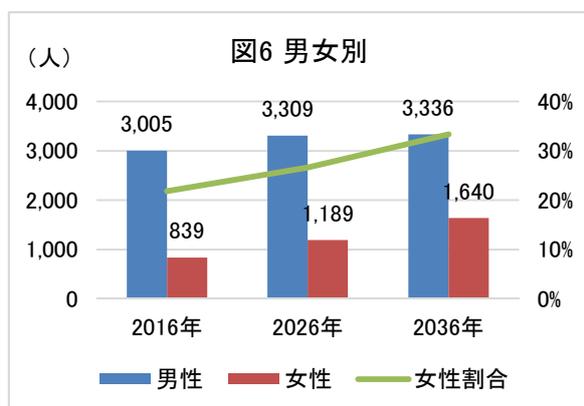
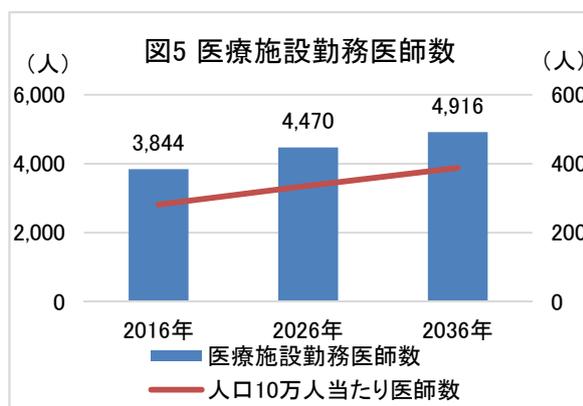
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて331人(11%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に801人(95%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は33%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて578人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に308人(21%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は98人(8%)増え、全国平均(8%)と同程度の減少率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて727人(109%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



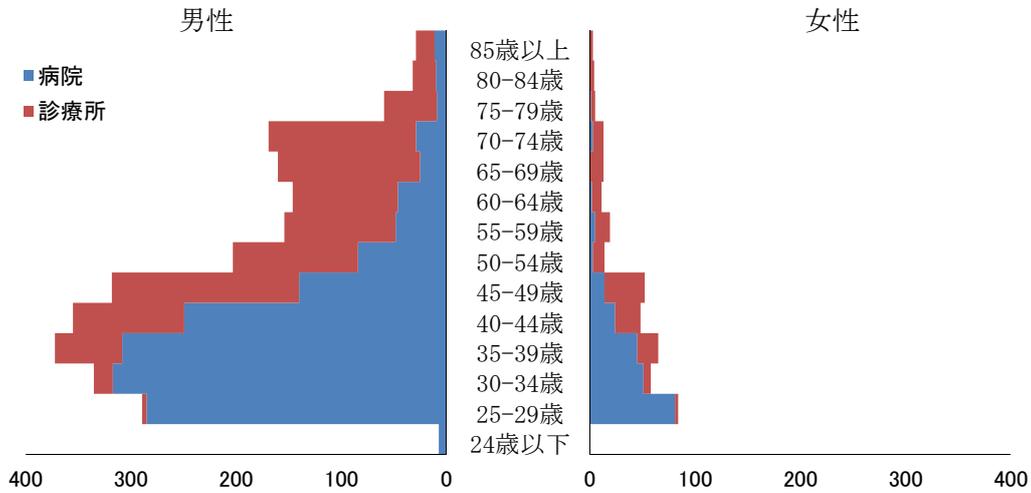
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島医療圏

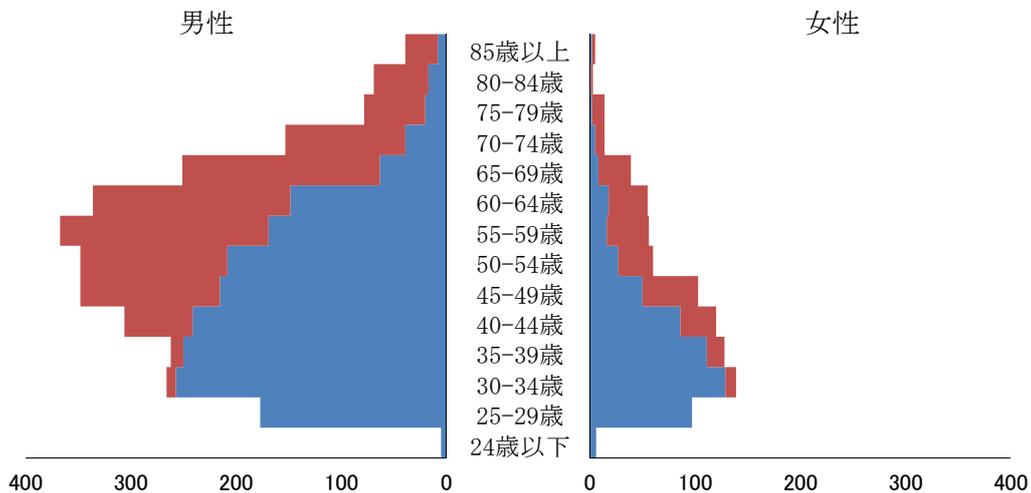
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

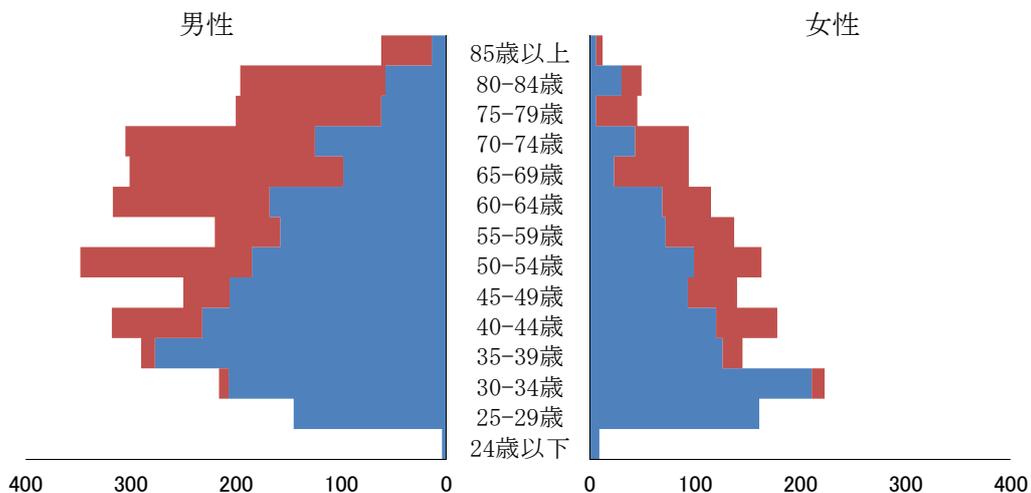
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,365,134	1,329,204	1,266,365	-98,769	-7%	-35,930	-3%	-62,839	-5%	
医療施設勤務医師数	3,844	4,470	4,916	1,072	28%	626	16%	446	10%	
人口10万対	281.6	336.3	388.2	106.6	38%	54.7	19%	51.9	15%	
男性医師数	3,005	3,309	3,336	331	11%	304	10%	27	1%	
人口10万対	220.1	248.9	263.4	43.3	20%	28.8	13%	14.5	6%	
女性医師数	839	1,189	1,640	801	95%	350	42%	451	38%	
人口10万対	61.5	89.5	129.5	68.0	111%	28.0	46%	40.1	45%	
病院勤務医師数	2,375	2,705	2,953	578	24%	330	14%	248	9%	
人口10万対	174.0	203.5	233.2	59.2	34%	29.5	17%	29.7	15%	
診療所勤務医師数	1,469	1,691	1,777	308	21%	222	15%	86	5%	
人口10万対	107.6	127.2	140.3	32.7	30%	19.6	18%	13.1	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	690	725	748	58	8%	35	5%	23	3%
	35-49歳	1,267	1,309	1,365	98	8%	42	3%	56	4%
	50-64歳	1,222	1,334	1,411	189	15%	112	9%	77	6%
	65歳以上	665	1,102	1,392	727	109%	437	66%	290	26%
	75歳以上(再掲)	208	342	567	359	173%	134	64%	225	66%
男性	24-34歳	448	471	364	-84	-19%	23	5%	-107	-23%
	35-49歳	916	858	892	-24	-3%	-58	-6%	34	4%
	50-64歳	1,051	1,034	949	-102	-10%	-17	-2%	-85	-8%
	65歳以上	590	946	1,131	541	92%	356	60%	185	20%
	75歳以上(再掲)	186	296	476	290	156%	110	59%	180	61%
女性	24-34歳	242	255	395	153	63%	13	5%	140	55%
	35-49歳	351	460	481	130	37%	109	31%	21	5%
	50-64歳	171	302	478	307	180%	131	77%	176	58%
	65歳以上	75	172	286	211	281%	97	129%	114	66%
	75歳以上(再掲)	22	48	94	72	327%	26	118%	46	96%
病院	24-34歳	671	706	727	56	8%	35	5%	21	3%
	35-49歳	953	1,005	1,055	102	11%	52	5%	50	5%
	50-64歳	586	678	740	154	26%	92	16%	62	9%
	65歳以上	165	316	431	266	161%	151	92%	115	36%
	75歳以上(再掲)	50	82	158	108	216%	32	64%	76	93%
診療所	24-34歳	19	19	20	1	5%	0	0%	1	5%
	35-49歳	314	272	278	-36	-11%	-42	-13%	6	2%
	50-64歳	636	634	585	-51	-8%	-2	0%	-49	-8%
	65歳以上	500	766	894	394	79%	266	53%	128	17%
	75歳以上(再掲)	158	263	391	233	147%	105	66%	128	49%
	85歳以上(再掲)	34	33	54	20	59%	-1	-3%	21	64%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島西医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は2,670人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は149人(63%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は271人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は66%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

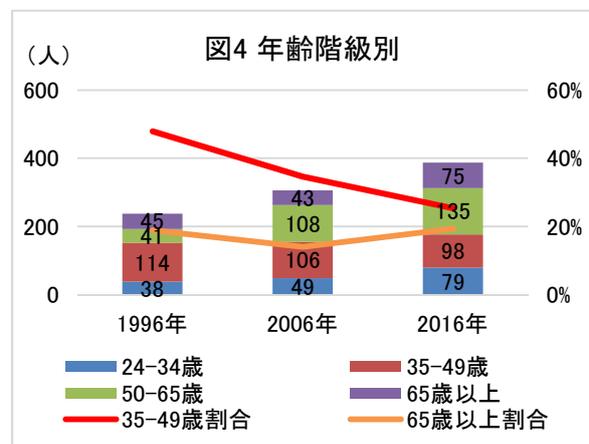
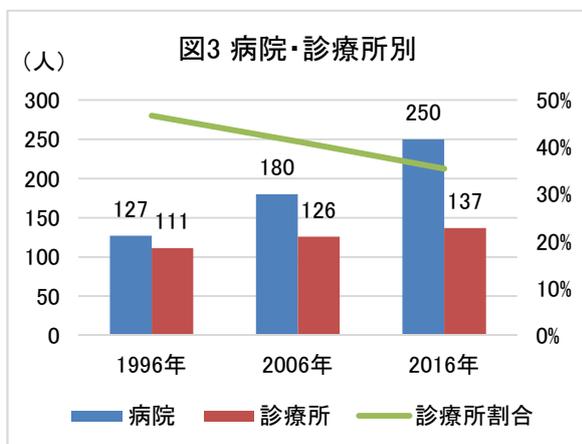
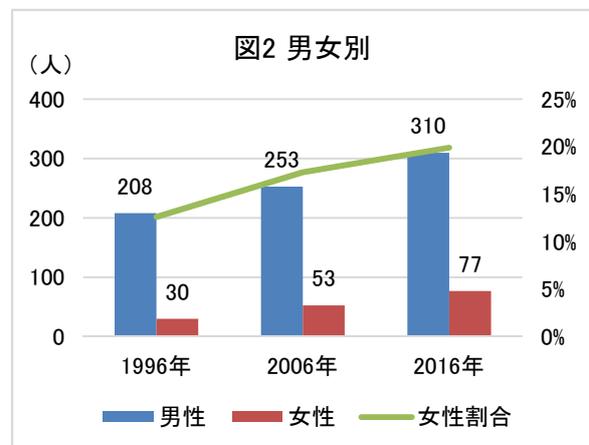
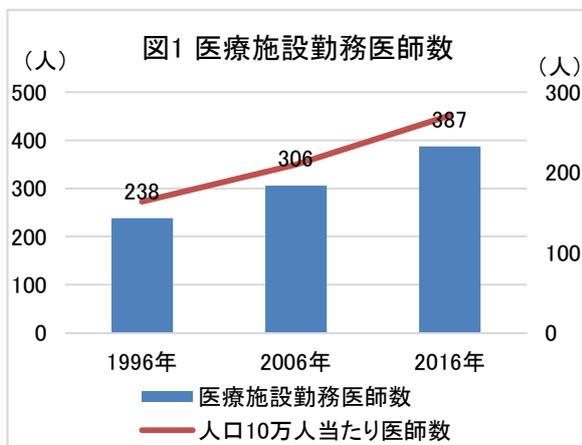
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて102人(49%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に47人(157%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて123人(97%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に26人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は16人(-14%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて30人(67%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年19%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

広島西医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	145,441	145,809	142,771	-2,670	-2%	368	0%	-3,038	-2%	
総医師数	243	316	397	154	63%	73	30%	81	26%	
人口10万対	167.1	216.7	278.1	111.0	66%	49.6	30%	61.3	28%	
医療施設勤務医師数	238	306	387	149	63%	68	29%	81	26%	
人口10万対	163.6	209.9	271.1	107.4	66%	46.2	28%	61.2	29%	
男性医師数	208	253	310	102	49%	45	22%	57	23%	
人口10万対	143.0	173.5	217.1	74.1	52%	30.5	21%	43.6	25%	
女性医師数	30	53	77	47	157%	23	77%	24	45%	
人口10万対	20.6	36.3	53.9	33.3	161%	15.7	76%	17.6	48%	
病院勤務医師数	127	180	250	123	97%	53	42%	70	39%	
人口10万対	87.3	123.4	175.1	87.8	101%	36.1	41%	51.7	42%	
診療所勤務医師数	111	126	137	26	23%	15	14%	11	9%	
人口10万対	76.3	86.4	96.0	19.6	26%	10.1	13%	9.5	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.9	50.3	51.3	2.4	5%	1.3	3%	1.0	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	38	49	79	41	108%	11	29%	30	61%
	35-49歳	114	106	98	-16	-14%	-8	-7%	-8	-8%
	50-64歳	41	108	135	94	229%	67	163%	27	25%
	65歳以上	45	43	75	30	67%	-2	-4%	32	74%
	75歳以上(再掲)	9	25	18	9	100%	16	178%	-7	-28%
男性	24-34歳	28	32	51	23	82%	4	14%	19	59%
	35-49歳	99	87	76	-23	-23%	-12	-12%	-11	-13%
	50-64歳	37	93	114	77	208%	56	151%	21	23%
	65歳以上	44	41	69	25	57%	-3	-7%	28	68%
	75歳以上(再掲)	9	24	17	8	89%	15	167%	-7	-29%
女性	24-34歳	10	17	28	18	180%	7	70%	11	65%
	35-49歳	15	19	22	7	47%	4	27%	3	16%
	50-64歳	4	15	21	17	425%	11	275%	6	40%
	65歳以上	1	2	6	5	500%	1	100%	4	200%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
病院	24-34歳	38	48	79	41	108%	10	26%	31	65%
	35-49歳	67	81	78	11	16%	14	21%	-3	-4%
	50-64歳	15	46	68	53	353%	31	207%	22	48%
	65歳以上	7	5	25	18	257%	-2	-29%	20	400%
	75歳以上(再掲)	4	4	2	-2	-50%	0	0%	-2	-50%
診療所	24-34歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	35-49歳	47	25	20	-27	-57%	-22	-47%	-5	-20%
	50-64歳	26	62	67	41	158%	36	138%	5	8%
	65歳以上	38	38	50	12	32%	0	0%	12	32%
	75歳以上(再掲)	5	21	16	11	220%	16	320%	-5	-24%
	85歳以上(再掲)	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%

広島西医療圏

<医師数の推移>

広島西医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、泌尿器科、臨床研修医であり、少ない診療科は、精神科、小児外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	238	163.6	48	306	209.9	50	387	271.1	53	149	63%	107.4	66%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	115	79.1	51	133	91.2	54	156	109.3	56	41	36%	30.2	38%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	18	12.4	53	20	13.7	55	25	17.5	58	7	39%	5.1	41%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	9	6.2	45	9	6.2	42	11	7.7	42	2	22%	1.5	25%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	22	15.1	44	26	17.8	50	30	21.0	53	8	36%	5.9	39%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0		0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.4	48	4	2.7	54	4	2.8	52	2	100%	1.4	104%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	4.1	49	9	6.2	56	8	5.6	49	2	33%	1.5	36%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	16	11.0	46	18	12.3	45	25	17.5	51	9	56%	6.5	59%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.7	47	2	1.4	49	2	1.4	46	1	100%	0.7	104%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	4.1	46	8	5.5	48	11	7.7	51	5	83%	3.6	87%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	6.2	45	14	9.6	50	15	10.5	50	6	67%	4.3	70%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	4.8	44	9	6.2	47	9	6.3	47	2	29%	1.5	31%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	3.4	47	7	4.8	50	10	7.0	56	5	100%	3.6	104%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	11	7.6	45	12	8.2	47	14	9.8	49	3	27%	2.2	30%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.7	50	2	1.4	49	2	1.4	46	1	100%	0.7	104%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	5	3.4	50	10	6.9	60	8	5.6	51	3	60%	2.2	63%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	2.8	46	6	4.1	48	8	5.6	46	4	100%	2.9	104%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.7	45	4	2.8	51	3	300%	2.1	309%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				13	8.9	47	32	22.4	60	32	146%	13.5	151%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.7	42	3	2.1	44	13	9.1	53	12	1200%	8.4	1224%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

広島西医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は26,942人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は138人(36%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は453人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は67%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

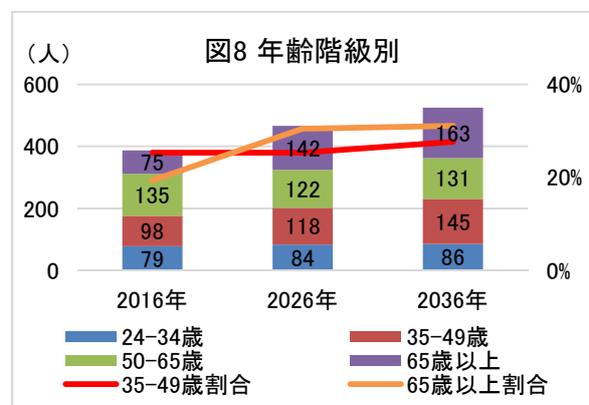
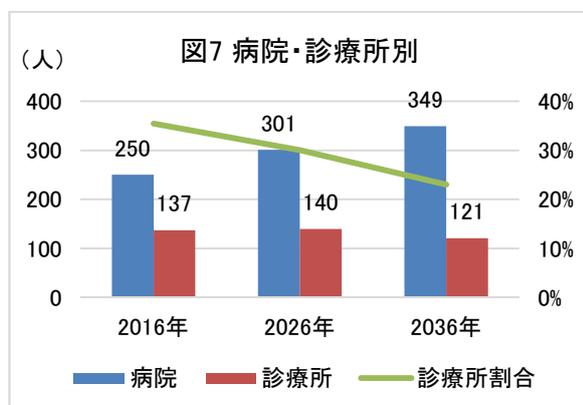
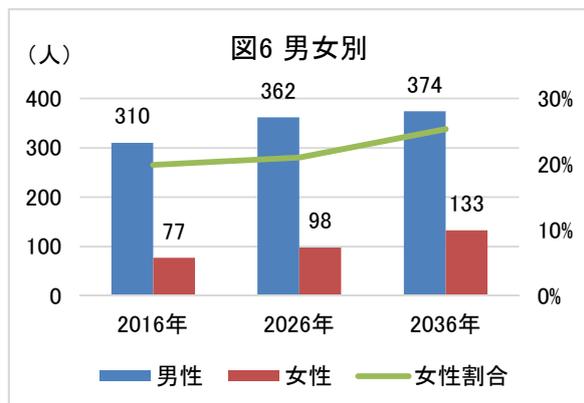
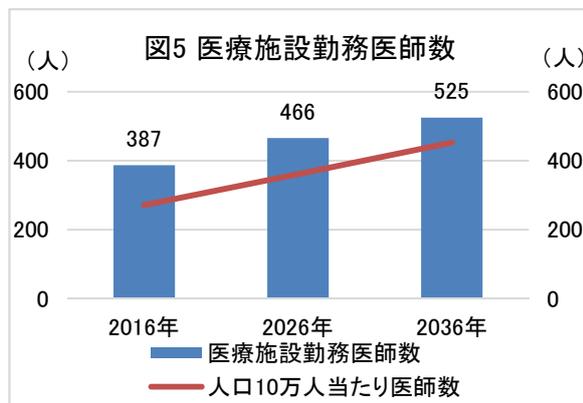
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて64人(21%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に56人(73%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて99人(40%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に16人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は47人(48%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて88人(117%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



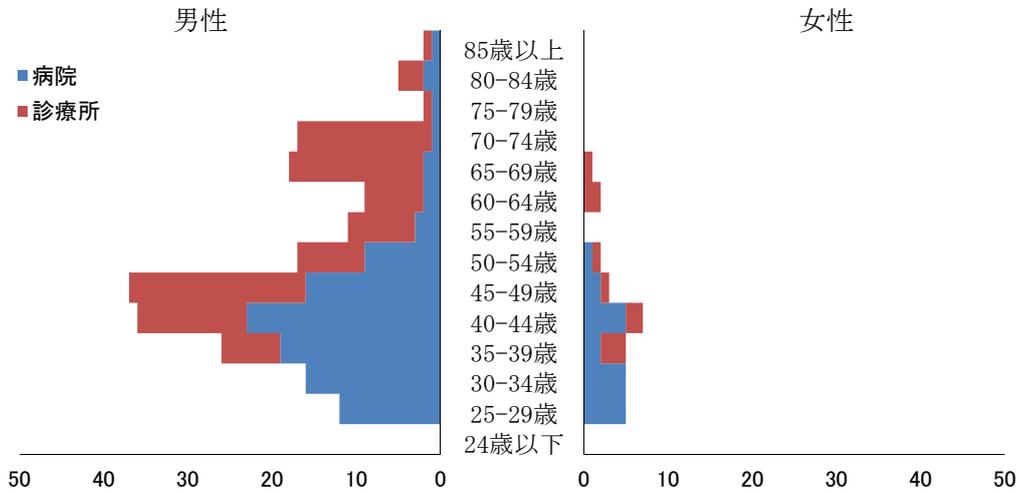
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島西医療圏

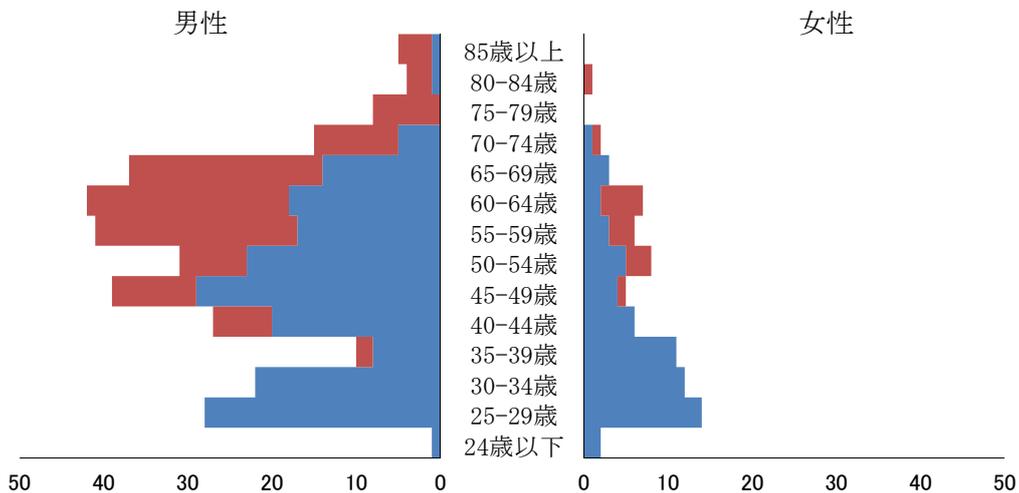
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

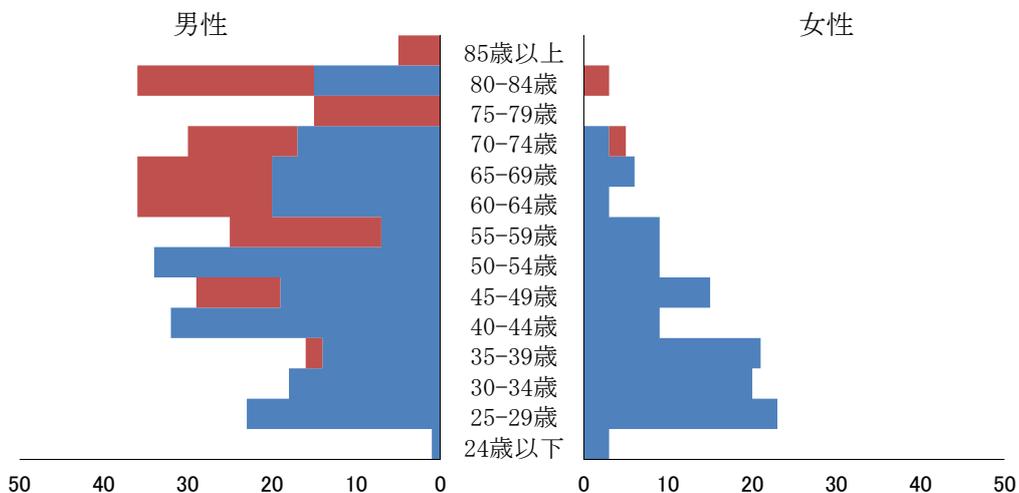
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島西医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	142,771	128,917	115,829	-26,942	-19%	-13,854	-10%	-13,088	-10%	
医療施設勤務医師数	387	466	525	138	36%	79	20%	59	13%	
人口10万対	271.1	361.5	453.3	182.2	67%	90.4	33%	91.8	25%	
男性医師数	310	362	374	64	21%	52	17%	12	3%	
人口10万対	217.1	280.8	322.9	105.8	49%	63.7	29%	42.1	15%	
女性医師数	77	98	133	56	73%	21	27%	35	36%	
人口10万対	53.9	76.0	114.8	60.9	113%	22.1	41%	38.8	51%	
病院勤務医師数	250	301	349	99	40%	51	20%	48	16%	
人口10万対	175.1	233.5	301.3	126.2	72%	58.4	33%	67.8	29%	
診療所勤務医師数	137	140	121	-16	-12%	3	2%	-19	-14%	
人口10万対	96.0	108.6	104.5	8.5	9%	12.6	13%	-4.1	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	79	84	86	7	9%	5	6%	2	2%
	35-49歳	98	118	145	47	48%	20	20%	27	23%
	50-64歳	135	122	131	-4	-3%	-13	-10%	9	7%
	65歳以上	75	142	163	88	117%	67	89%	21	15%
	75歳以上(再掲)	18	45	79	61	339%	27	150%	34	76%
男性	24-34歳	51	55	42	-9	-18%	4	8%	-13	-24%
	35-49歳	76	74	88	12	16%	-2	-3%	14	19%
	50-64歳	114	105	101	-13	-11%	-9	-8%	-4	-4%
	65歳以上	69	128	143	74	107%	59	86%	15	12%
	75歳以上(再掲)	17	41	68	51	300%	24	141%	27	66%
女性	24-34歳	28	29	45	17	61%	1	4%	16	55%
	35-49歳	22	39	49	27	123%	17	77%	10	26%
	50-64歳	21	17	25	4	19%	-4	-19%	8	47%
	65歳以上	6	13	14	8	133%	7	117%	1	8%
	75歳以上(再掲)	1	2	5	4	400%	1	100%	3	150%
病院	24-34歳	79	84	86	7	9%	5	6%	2	2%
	35-49歳	78	97	118	40	51%	19	24%	21	22%
	50-64歳	68	73	83	15	22%	5	7%	10	14%
	65歳以上	25	47	62	37	148%	22	88%	15	32%
	75歳以上(再掲)	2	7	17	15	750%	5	250%	10	143%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	20	13	13	-7	-35%	-7	-35%	0	0%
	50-64歳	67	42	31	-36	-54%	-25	-37%	-11	-26%
	65歳以上	50	85	77	27	54%	35	70%	-8	-9%
	75歳以上(再掲)	16	27	46	30	188%	11	69%	19	70%
	85歳以上(再掲)	4	3	5	1	25%	-1	-25%	2	67%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

呉医療圏

< 医師数の推移 >

1996年から2016年にかけて、総人口は52,154人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は増減がなかった。2016年の人口10万人当たり医師数は303人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

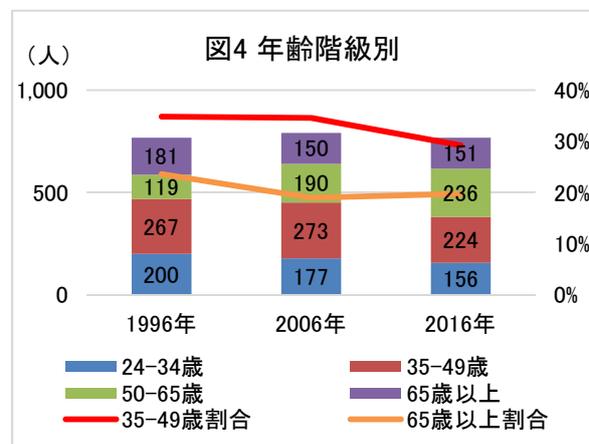
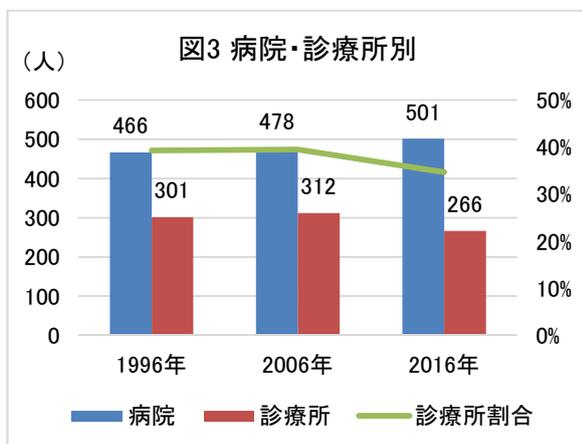
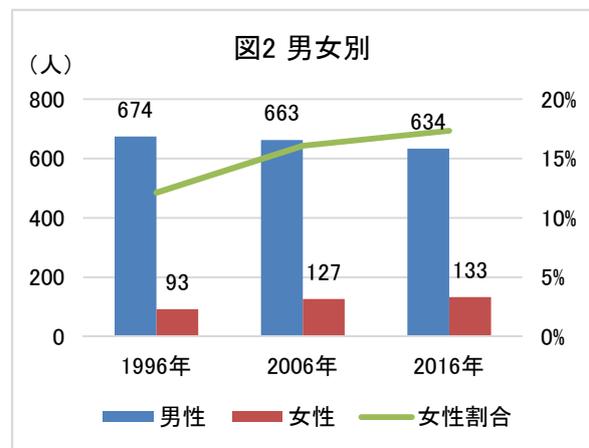
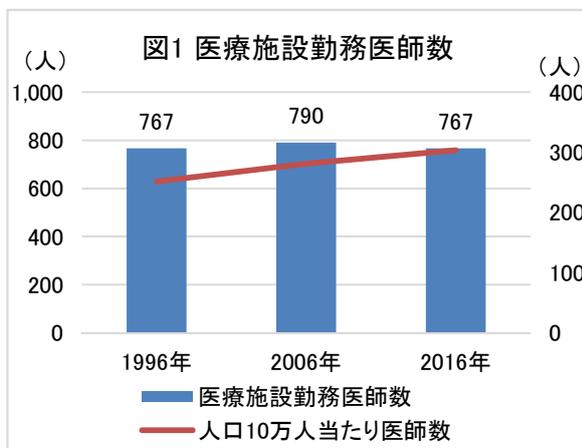
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて40人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に40人(43%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて35人(8%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(-12%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は43人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて30人(-17%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年20%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

呉医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	305,045	280,942	252,891	-52,154	-17%	-24,103	-8%	-28,051	-10%	
総医師数	777	813	798	21	3%	36	5%	-15	-2%	
人口10万対	254.7	289.4	315.6	60.8	24%	34.7	14%	26.2	9%	
医療施設勤務医師数	767	790	767	0	0%	23	3%	-23	-3%	
人口10万対	251.4	281.2	303.3	51.9	21%	29.8	12%	22.1	8%	
男性医師数	674	663	634	-40	-6%	-11	-2%	-29	-4%	
人口10万対	221.0	236.0	250.7	29.7	13%	15.0	7%	14.7	6%	
女性医師数	93	127	133	40	43%	34	37%	6	5%	
人口10万対	30.5	45.2	52.6	22.1	73%	14.7	48%	7.4	16%	
病院勤務医師数	466	478	501	35	8%	12	3%	23	5%	
人口10万対	152.8	170.1	198.1	45.3	30%	17.4	11%	28.0	16%	
診療所勤務医師数	301	312	266	-35	-12%	11	4%	-46	-15%	
人口10万対	98.7	111.1	105.2	6.5	7%	12.4	13%	-5.9	-5%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.6	49.3	51.1	2.6	5%	0.8	2%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	200	177	156	-44	-22%	-23	-12%	-21	-12%
	35-49歳	267	273	224	-43	-16%	6	2%	-49	-18%
	50-64歳	119	190	236	117	98%	71	60%	46	24%
	65歳以上	181	150	151	-30	-17%	-31	-17%	1	1%
	75歳以上(再掲)	63	89	68	5	8%	26	41%	-21	-24%
男性	24-34歳	162	121	105	-57	-35%	-41	-25%	-16	-13%
	35-49歳	245	233	184	-61	-25%	-12	-5%	-49	-21%
	50-64歳	109	172	207	98	90%	63	58%	35	20%
	65歳以上	158	137	138	-20	-13%	-21	-13%	1	1%
	75歳以上(再掲)	50	79	64	14	28%	29	58%	-15	-19%
女性	24-34歳	38	56	51	13	34%	18	47%	-5	-9%
	35-49歳	22	40	40	18	82%	18	82%	0	0%
	50-64歳	10	18	29	19	190%	8	80%	11	61%
	65歳以上	23	13	13	-10	-43%	-10	-43%	0	0%
	75歳以上(再掲)	13	10	4	-9	-69%	-3	-23%	-6	-60%
病院	24-34歳	190	171	151	-39	-21%	-19	-10%	-20	-12%
	35-49歳	188	188	179	-9	-5%	0	0%	-9	-5%
	50-64歳	55	81	121	66	120%	26	47%	40	49%
	65歳以上	33	38	50	17	52%	5	15%	12	32%
	75歳以上(再掲)	13	18	19	6	46%	5	38%	1	6%
診療所	24-34歳	10	6	5	-5	-50%	-4	-40%	-1	-17%
	35-49歳	79	85	45	-34	-43%	6	8%	-40	-47%
	50-64歳	64	109	115	51	80%	45	70%	6	6%
	65歳以上	148	112	101	-47	-32%	-36	-24%	-11	-10%
	75歳以上(再掲)	50	71	49	-1	-2%	21	42%	-22	-31%
	85歳以上(再掲)	9	14	20	11	122%	5	56%	6	43%

呉医療圏

＜医師数の推移＞

呉医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、放射線科、臨床研修医であり、少ない診療科は、形成外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、泌尿器科、リハビリテーション科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	767	251.4	58	790	281.2	59	767	303.3	57	0	0%	51.9	21%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	324	106.2	59	306	108.9	61	308	121.8	60	-16	-5%	15.6	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	46	15.1	59	47	16.7	62	34	13.4	50	-12	-26%	-1.6	-11%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	32	10.5	56	36	12.8	57	36	14.2	54	4	13%	3.7	36%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	96	31.5	62	83	29.5	66	76	30.1	65	-20	-21%	-1.4	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.7	53	2	0.7	53	1	0.4	46	-1	-50%	-0.3	-40%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	11	3.6	63	9	3.2	57	5	2.0	47	-6	-55%	-1.6	-45%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	24	7.9	63	20	7.1	60	18	7.1	55	-6	-25%	-0.8	-10%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	50	16.4	57	56	19.9	61	57	22.5	61	7	14%	6.1	38%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	1.0	50	3	1.1	47	3	1.2	45	0	0%	0.2	21%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	21	6.9	54	17	6.1	50	18	7.1	50	-3	-14%	0.2	3%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	31	10.2	53	29	10.3	52	30	11.9	54	-1	-3%	1.7	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	27	8.9	55	22	7.8	53	21	8.3	53	-6	-22%	-0.5	-6%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	3.3	46	12	4.3	48	15	5.9	51	5	50%	2.7	81%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	30	9.8	50	28	10.0	52	22	8.7	46	-8	-27%	-1.1	-12%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.3	45	6	2.1	56	5	2.0	50	4	400%	1.6	503%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	17	5.6	57	18	6.4	59	18	7.1	55	1	6%	1.5	28%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	20	6.6	58	21	7.5	58	20	7.9	52	0	0%	1.4	21%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.7	45	5	2.0	47	3	150%	1.3	178%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				61	21.7	62	54	21.4	59	54	-11%	-0.4	-2%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	22	7.2	56	12	4.3	48	21	8.3	52	-1	-5%	1.1	15%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

呉医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は62,416人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は29人(-4%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は387人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

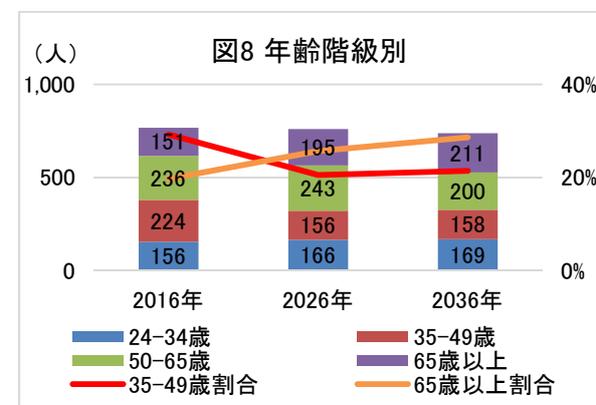
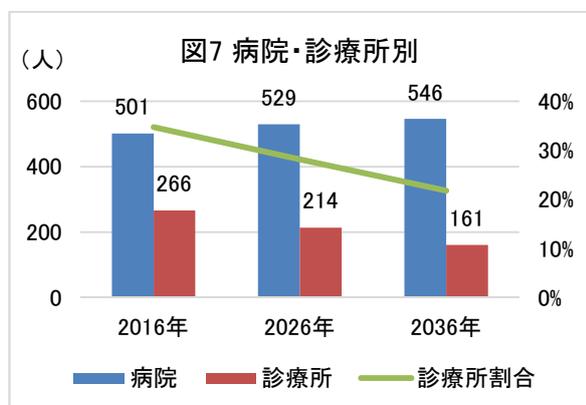
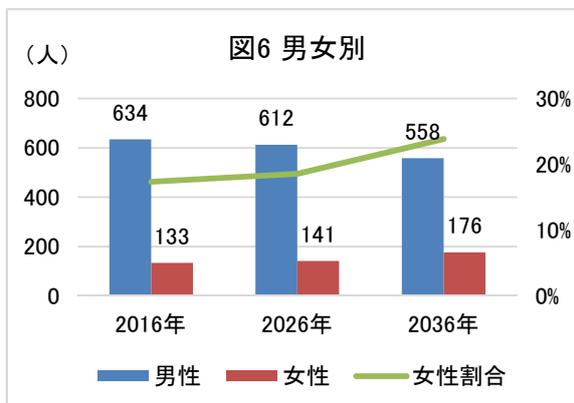
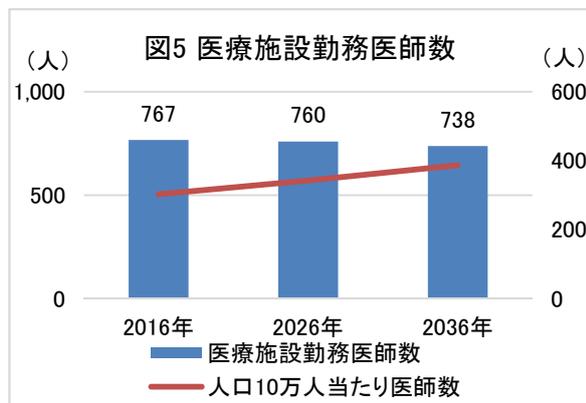
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて76人(-12%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に43人(32%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は24%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて45人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に105人(-39%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は66人(-29%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて60人(40%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



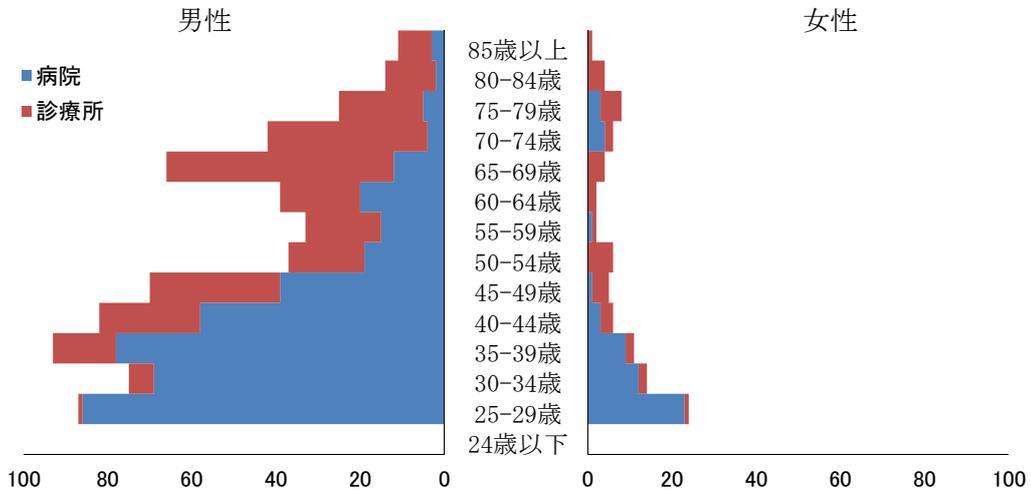
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

呉医療圏

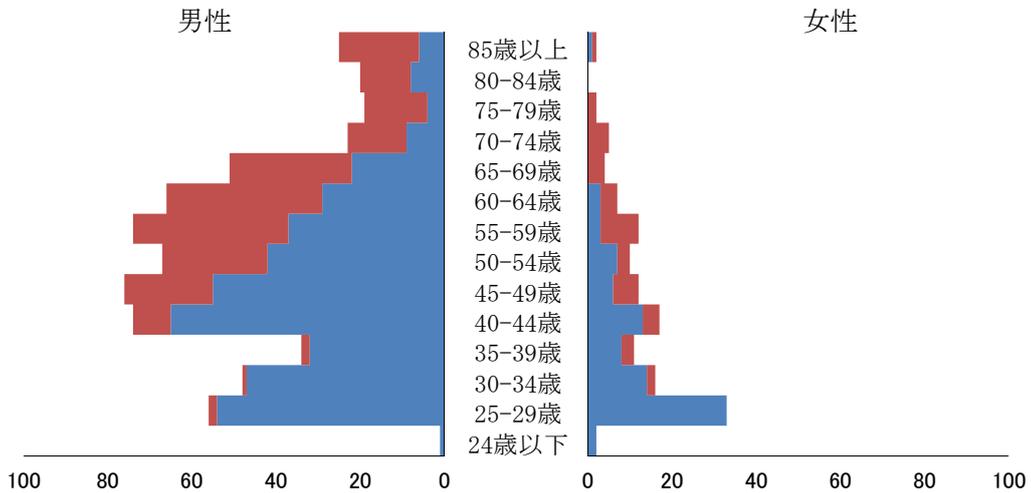
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

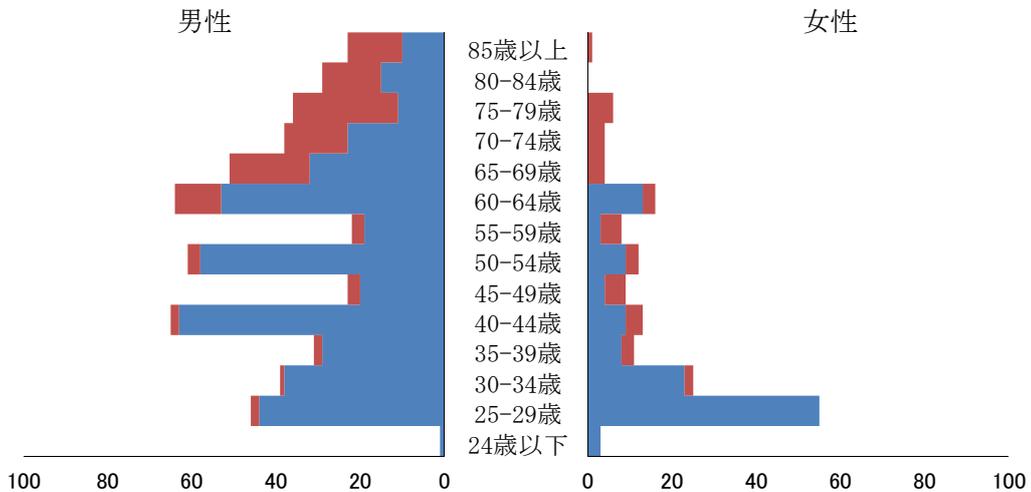
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

呉医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	252,891	221,612	190,475	-62,416	-25%	-31,279	-12%	-31,137	-14%	
医療施設勤務医師数	767	760	738	-29	-4%	-7	-1%	-22	-3%	
人口10万対	303.3	342.9	387.5	84.2	28%	39.6	13%	44.5	13%	
男性医師数	634	612	558	-76	-12%	-22	-3%	-54	-9%	
人口10万対	250.7	276.2	293.0	42.3	17%	25.5	10%	16.8	6%	
女性医師数	133	141	176	43	32%	8	6%	35	25%	
人口10万対	52.6	63.6	92.4	39.8	76%	11.0	21%	28.8	45%	
病院勤務医師数	501	529	546	45	9%	28	6%	17	3%	
人口10万対	198.1	238.7	286.7	88.5	45%	40.6	20%	47.9	20%	
診療所勤務医師数	266	214	161	-105	-39%	-52	-20%	-53	-25%	
人口10万対	105.2	96.6	84.5	-20.7	-20%	-8.6	-8%	-12.0	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	156	166	169	13	8%	10	6%	3	2%
	35-49歳	224	156	158	-66	-29%	-68	-30%	2	1%
	50-64歳	236	243	200	-36	-15%	7	3%	-43	-18%
	65歳以上	151	195	211	60	40%	44	29%	16	8%
	75歳以上(再掲)	68	77	101	33	49%	9	13%	24	31%
男性	24-34歳	105	111	86	-19	-18%	6	6%	-25	-23%
	35-49歳	184	125	123	-61	-33%	-59	-32%	-2	-2%
	50-64歳	207	206	167	-40	-19%	-1	0%	-39	-19%
	65歳以上	138	170	182	44	32%	32	23%	12	7%
	75歳以上(再掲)	64	69	89	25	39%	5	8%	20	29%
女性	24-34歳	51	54	83	32	63%	3	6%	29	54%
	35-49歳	40	31	33	-7	-18%	-9	-23%	2	6%
	50-64歳	29	36	34	5	17%	7	24%	-2	-6%
	65歳以上	13	20	26	13	100%	7	54%	6	30%
	75歳以上(再掲)	4	5	9	5	125%	1	25%	4	80%
病院	24-34歳	151	161	164	13	9%	10	7%	3	2%
	35-49歳	179	132	133	-46	-26%	-47	-26%	1	1%
	50-64歳	121	164	152	31	26%	43	36%	-12	-7%
	65歳以上	50	72	97	47	94%	22	44%	25	35%
	75歳以上(再掲)	19	23	36	17	89%	4	21%	13	57%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	45	20	20	-25	-56%	-25	-56%	0	0%
	50-64歳	115	70	31	-84	-73%	-45	-39%	-39	-56%
	65歳以上	101	119	105	4	4%	18	18%	-14	-12%
	75歳以上(再掲)	49	52	63	14	29%	3	6%	11	21%
	85歳以上(再掲)	20	14	15	-5	-25%	-6	-30%	1	7%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島中央医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,867人(9%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は110人(34%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は190人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

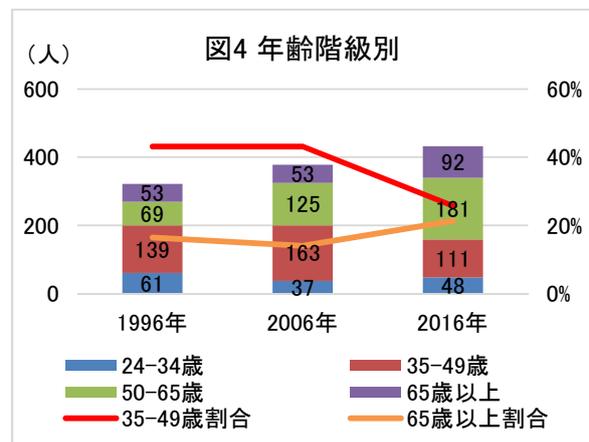
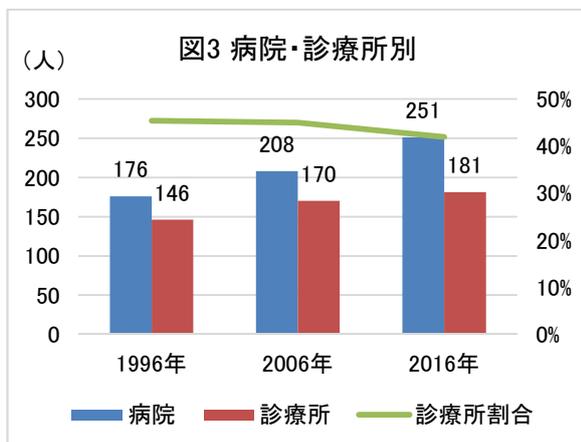
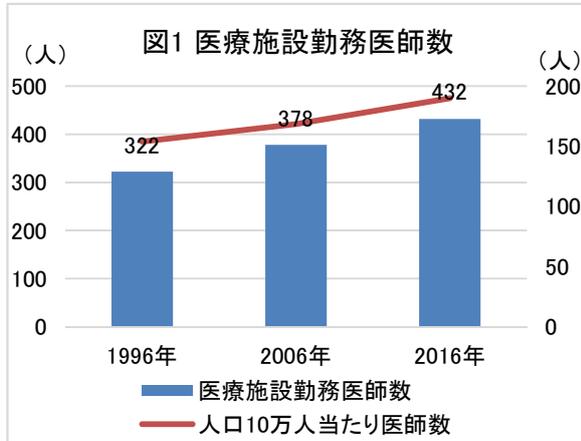
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて69人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に41人(108%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて75人(43%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は28人(-20%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて39人(74%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

広島中央医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	209,458	224,323	227,325	17,867	9%	14,865	7%	3,002	1%	
総医師数	332	407	454	122	37%	75	23%	47	12%	
人口10万対	158.5	181.4	199.7	41.2	26%	22.9	14%	18.3	10%	
医療施設勤務医師数	322	378	432	110	34%	56	17%	54	14%	
人口10万対	153.7	168.5	190.0	36.3	24%	14.8	10%	21.5	13%	
男性医師数	284	314	353	69	24%	30	11%	39	12%	
人口10万対	135.6	140.0	155.3	19.7	15%	4.4	3%	15.3	11%	
女性医師数	38	64	79	41	108%	26	68%	15	23%	
人口10万対	18.1	28.5	34.8	16.6	92%	10.4	57%	6.2	22%	
病院勤務医師数	176	208	251	75	43%	32	18%	43	21%	
人口10万対	84.0	92.7	110.4	26.4	31%	8.7	10%	17.7	19%	
診療所勤務医師数	146	170	181	35	24%	24	16%	11	6%	
人口10万対	69.7	75.8	79.6	9.9	14%	6.1	9%	3.8	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.8	50.7	53.7	5.0	10%	1.9	4%	3.1	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	61	37	48	-13	-21%	-24	-39%	11	30%
	35-49歳	139	163	111	-28	-20%	24	17%	-52	-32%
	50-64歳	69	125	181	112	162%	56	81%	56	45%
	65歳以上	53	53	92	39	74%	0	0%	39	74%
	75歳以上(再掲)	19	19	24	5	26%	0	0%	5	26%
男性	24-34歳	55	26	34	-21	-38%	-29	-53%	8	31%
	35-49歳	119	137	86	-33	-28%	18	15%	-51	-37%
	50-64歳	65	104	152	87	134%	39	60%	48	46%
	65歳以上	45	47	81	36	80%	2	4%	34	72%
	75歳以上(再掲)	17	15	22	5	29%	-2	-12%	7	47%
女性	24-34歳	6	11	14	8	133%	5	83%	3	27%
	35-49歳	20	26	25	5	25%	6	30%	-1	-4%
	50-64歳	4	21	29	25	625%	17	425%	8	38%
	65歳以上	8	6	11	3	38%	-2	-25%	5	83%
	75歳以上(再掲)	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%
病院	24-34歳	55	33	47	-8	-15%	-22	-40%	14	42%
	35-49歳	81	115	80	-1	-1%	34	42%	-35	-30%
	50-64歳	27	45	90	63	233%	18	67%	45	100%
	65歳以上	13	15	34	21	162%	2	15%	19	127%
	75歳以上(再掲)	6	5	5	-1	-17%	-1	-17%	0	0%
診療所	24-34歳	6	4	1	-5	-83%	-2	-33%	-3	-75%
	35-49歳	58	48	31	-27	-47%	-10	-17%	-17	-35%
	50-64歳	42	80	91	49	117%	38	90%	11	14%
	65歳以上	40	38	58	18	45%	-2	-5%	20	53%
	75歳以上(再掲)	13	14	19	6	46%	1	8%	5	36%
	85歳以上(再掲)	4	2	3	-1	-25%	-2	-50%	1	50%

広島中央医療圏

＜医師数の推移＞

広島中央医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、形成外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	322	153.7	46	378	168.5	45	432	190.0	44	110	34%	36.3	24%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	153	73.0	49	159	70.9	47	181	79.6	47	28	18%	6.6	9%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	17	8.1	44	24	10.7	48	24	10.6	45	7	41%	2.4	30%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	19	9.1	53	30	13.4	58	35	15.4	56	16	84%	6.3	70%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	44	21.0	50	42	18.7	51	44	19.4	51	0	0%	-1.7	-8%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.4	49	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	1.3	46	3	1.3	44	3		1.3	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	3.3	45	10	4.5	48	13	5.7	50	6	86%	2.4	71%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	38	18.1	60	37	16.5	54	38	16.7	50	0	0%	-1.4	-8%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.5	45	0	0.0	39	0	0.0	37	-1	-100%	-0.5	-100%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	1.9	40	11	4.9	46	9	4.0	41	5	125%	2.0	107%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	14	6.7	46	17	7.6	45	18	7.9	44	4	29%	1.2	18%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	3.8	41	7	3.1	38	10	4.4	41	2	25%	0.6	15%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	0.5	34	10	4.5	48	7	3.1	40	6	600%	2.6	545%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	6.2	41	11	4.9	39	15	6.6	42	2	15%	0.4	6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.5	47	2	0.9	45	3	1.3	46	2	200%	0.8	176%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	2	0.9	40	3	1.3	40	3		1.3	
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.5	39	7	3.1	45	9	4.0	43	8	800%	3.5	729%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				4	1.8	39	12	5.3	42	12	200%	3.5	196%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.5	41	1	0.4	41	8	3.5	43	7	700%	3.0	637%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

広島中央医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は13,335人(-6%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は97人(22%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は247人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

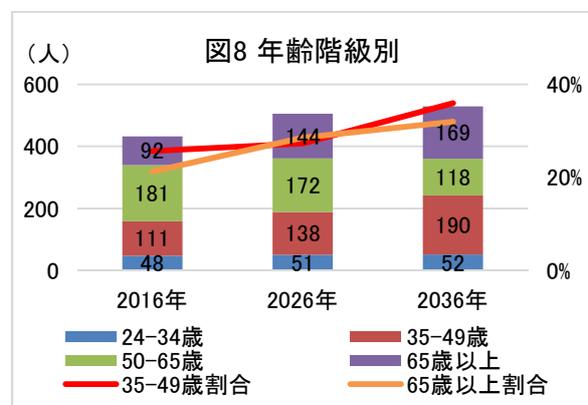
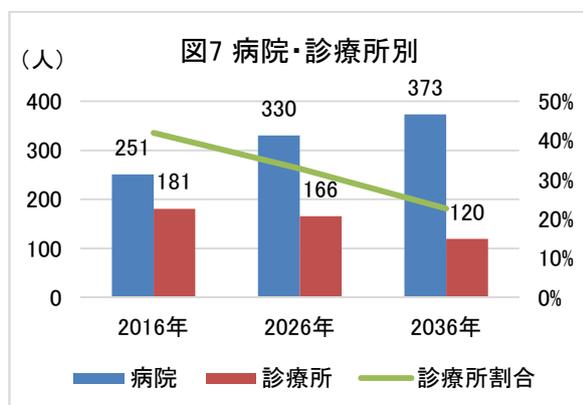
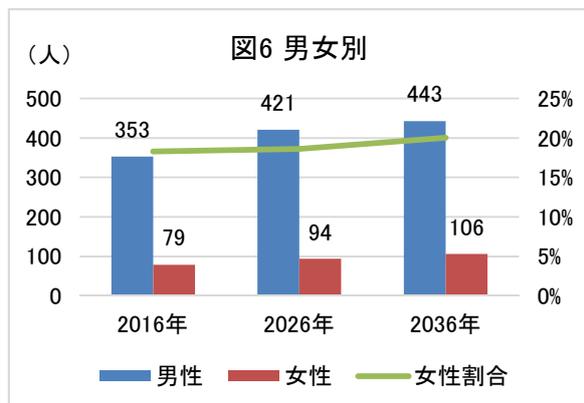
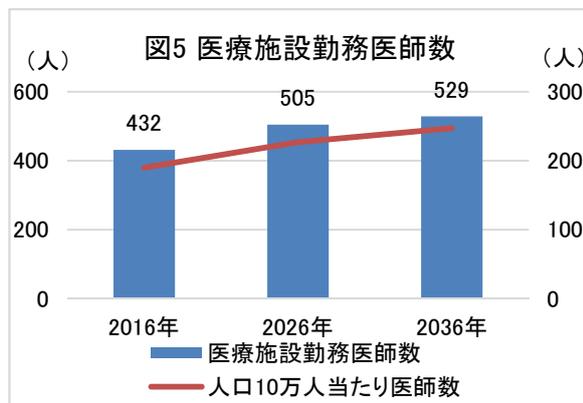
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて90人(25%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に27人(34%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は20%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて122人(49%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に61人(-34%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は79人(71%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて77人(84%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



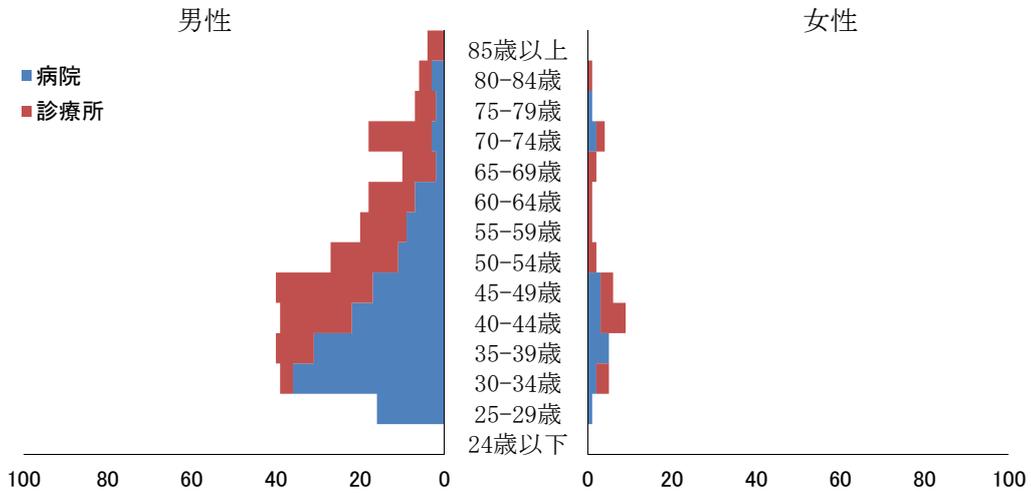
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島中央医療圏

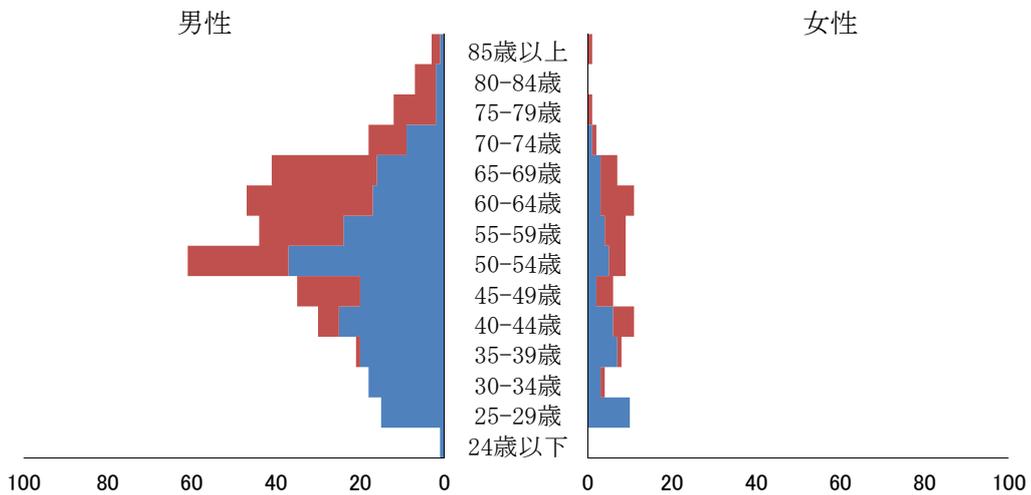
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

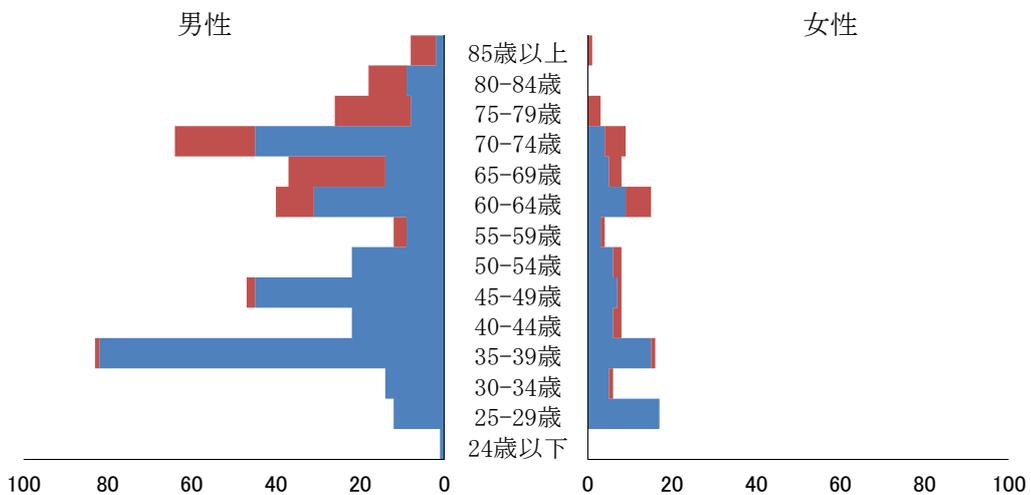
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

広島中央医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	227,325	222,702	213,990	-13,335	-6%	-4,623	-2%	-8,712	-4%	
医療施設勤務医師数	432	505	529	97	22%	73	17%	24	5%	
人口10万対	190.0	226.8	247.2	57.2	30%	36.7	19%	20.4	9%	
男性医師数	353	421	443	90	25%	68	19%	22	5%	
人口10万対	155.3	189.0	207.0	51.7	33%	33.8	22%	18.0	10%	
女性医師数	79	94	106	27	34%	15	19%	12	13%	
人口10万対	34.8	42.2	49.5	14.8	43%	7.5	21%	7.3	17%	
病院勤務医師数	251	330	373	122	49%	79	31%	43	13%	
人口10万対	110.4	148.2	174.3	63.9	58%	37.8	34%	26.1	18%	
診療所勤務医師数	181	166	120	-61	-34%	-15	-8%	-46	-28%	
人口10万対	79.6	74.5	56.1	-23.5	-30%	-5.1	-6%	-18.5	-25%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	48	51	52	4	8%	3	6%	1	2%
	35-49歳	111	138	190	79	71%	27	24%	52	38%
	50-64歳	181	172	118	-63	-35%	-9	-5%	-54	-31%
	65歳以上	92	144	169	77	84%	52	57%	25	17%
	75歳以上(再掲)	24	49	66	42	175%	25	104%	17	35%
男性	24-34歳	34	35	28	-6	-18%	1	3%	-7	-20%
	35-49歳	86	122	180	94	109%	36	42%	58	48%
	50-64歳	152	143	89	-63	-41%	-9	-6%	-54	-38%
	65歳以上	81	121	146	65	80%	40	49%	25	21%
	75歳以上(再掲)	22	41	55	33	150%	19	86%	14	34%
女性	24-34歳	14	15	22	8	57%	1	7%	7	47%
	35-49歳	25	29	37	12	48%	4	16%	8	28%
	50-64歳	29	28	26	-3	-10%	-1	-3%	-2	-7%
	65歳以上	11	22	21	10	91%	11	100%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	2	8	9	7	350%	6	300%	1	13%
病院	24-34歳	47	50	51	4	9%	3	6%	1	2%
	35-49歳	80	118	155	75	94%	38	48%	37	31%
	50-64歳	90	102	80	-10	-11%	12	13%	-22	-22%
	65歳以上	34	60	87	53	156%	26	76%	27	45%
	75歳以上(再掲)	5	12	21	16	320%	7	140%	9	75%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	31	8	8	-23	-74%	-23	-74%	0	0%
	50-64歳	91	75	26	-65	-71%	-16	-18%	-49	-65%
	65歳以上	58	82	85	27	47%	24	41%	3	4%
	75歳以上(再掲)	19	35	38	19	100%	16	84%	3	9%
	85歳以上(再掲)	3	4	7	4	133%	1	33%	3	75%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

尾三医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は38,085人(-13%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は44人(-7%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は219人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

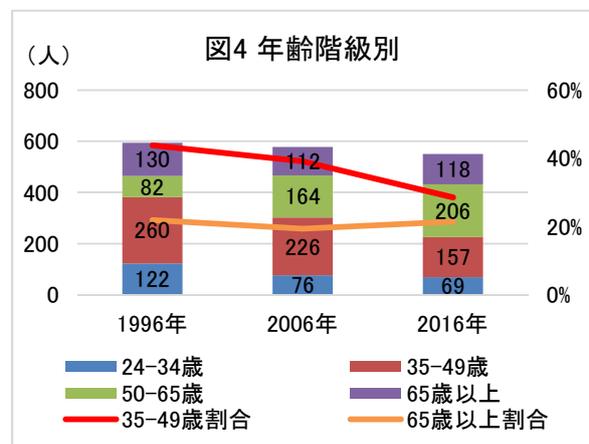
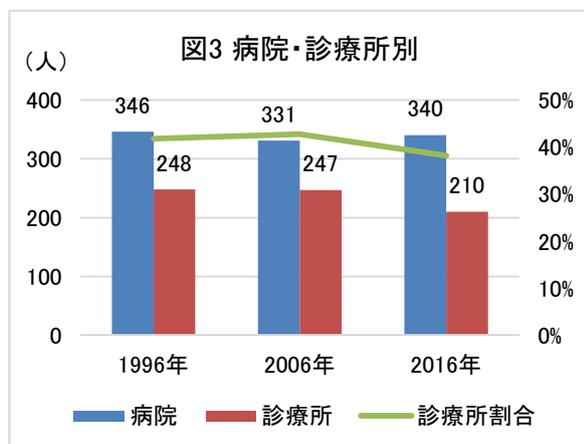
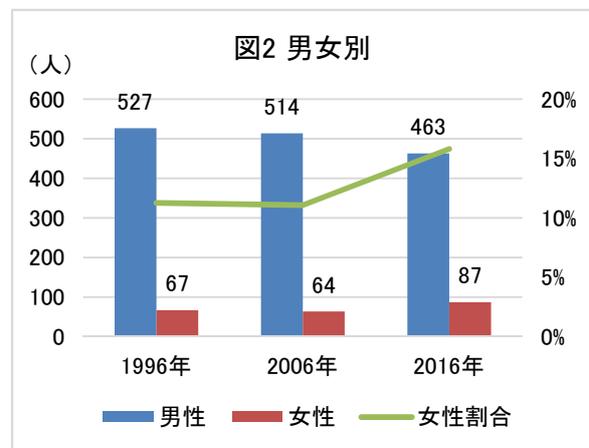
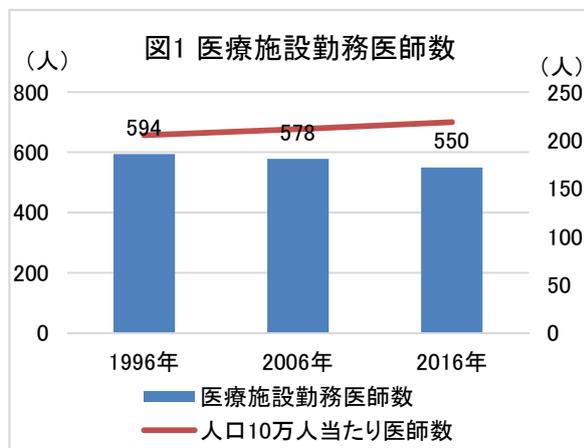
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて64人(-12%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に20人(30%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて6人(-2%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に38人(-15%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は103人(-40%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

尾三医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	289,242	273,287	251,157	-38,085	-13%	-15,955	-6%	-22,130	-8%	
総医師数	614	606	576	-38	-6%	-8	-1%	-30	-5%	
人口10万対	212.3	221.7	229.3	17.1	8%	9.5	4%	7.6	3%	
医療施設勤務医師数	594	578	550	-44	-7%	-16	-3%	-28	-5%	
人口10万対	205.4	211.5	219.0	13.6	7%	6.1	3%	7.5	4%	
男性医師数	527	514	463	-64	-12%	-13	-2%	-51	-10%	
人口10万対	182.2	188.1	184.3	2.1	1%	5.9	3%	-3.7	-2%	
女性医師数	67	64	87	20	30%	-3	-4%	23	36%	
人口10万対	23.2	23.4	34.6	11.5	50%	0.3	1%	11.2	48%	
病院勤務医師数	346	331	340	-6	-2%	-15	-4%	9	3%	
人口10万対	119.6	121.1	135.4	15.8	13%	1.5	1%	14.3	12%	
診療所勤務医師数	248	247	210	-38	-15%	-1	0%	-37	-15%	
人口10万対	85.7	90.4	83.6	-2.1	-2%	4.6	5%	-6.8	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.4	51.7	53.3	4.9	10%	3.3	7%	1.6	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	122	76	69	-53	-43%	-46	-38%	-7	-9%
	35-49歳	260	226	157	-103	-40%	-34	-13%	-69	-31%
	50-64歳	82	164	206	124	151%	82	100%	42	26%
	65歳以上	130	112	118	-12	-9%	-18	-14%	6	5%
	75歳以上(再掲)	35	70	32	-3	-9%	35	100%	-38	-54%
男性	24-34歳	97	61	48	-49	-51%	-36	-37%	-13	-21%
	35-49歳	233	197	126	-107	-46%	-36	-15%	-71	-36%
	50-64歳	78	152	177	99	127%	74	95%	25	16%
	65歳以上	119	104	112	-7	-6%	-15	-13%	8	8%
	75歳以上(再掲)	29	66	29	0	0%	37	128%	-37	-56%
女性	24-34歳	25	15	21	-4	-16%	-10	-40%	6	40%
	35-49歳	27	29	31	4	15%	2	7%	2	7%
	50-64歳	4	12	29	25	625%	8	200%	17	142%
	65歳以上	11	8	6	-5	-45%	-3	-27%	-2	-25%
	75歳以上(再掲)	6	4	3	-3	-50%	-2	-33%	-1	-25%
病院	24-34歳	118	75	68	-50	-42%	-43	-36%	-7	-9%
	35-49歳	174	167	122	-52	-30%	-7	-4%	-45	-27%
	50-64歳	31	64	112	81	261%	33	106%	48	75%
	65歳以上	23	25	38	15	65%	2	9%	13	52%
	75歳以上(再掲)	8	12	5	-3	-38%	4	50%	-7	-58%
診療所	24-34歳	4	1	1	-3	-75%	-3	-75%	0	0%
	35-49歳	86	59	35	-51	-59%	-27	-31%	-24	-41%
	50-64歳	51	100	94	43	84%	49	96%	-6	-6%
	65歳以上	107	87	80	-27	-25%	-20	-19%	-7	-8%
	75歳以上(再掲)	27	58	27	0	0%	31	115%	-31	-53%
	85歳以上(再掲)	5	9	11	6	120%	4	80%	2	22%

尾三医療圏

＜医師数の推移＞

尾三医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科、眼科、放射線科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	594	205.4	53	578	211.5	51	550	219.0	48	-44	-7%	13.6	7%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	252	87.1	54	232	84.9	52	216	86.0	49	-36	-14%	-1.1	-1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	39	13.5	56	35	12.8	53	28	11.1	46	-11	-28%	-2.3	-17%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	21	7.3	48	25	9.1	49	33	13.1	52	12	57%	5.9	81%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	89	30.8	61	77	28.2	64	66	26.3	60	-23	-26%	-4.5	-15%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.3	48	1	0.4	47	0	0.0	41	-1	-100%	-0.3	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	1.0	46	7	2.6	53	8	3.2	54	5	167%	2.1	207%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	16	5.5	54	14	5.1	51	15	6.0	51	-1	-6%	0.4	8%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	45	15.6	55	44	16.1	53	45	17.9	52	0	0%	2.4	15%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	1	0.4	39	1		0.4	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	15	5.2	49	15	5.5	48	17	6.8	49	2	13%	1.6	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	29	10.0	53	26	9.5	50	19	7.6	43	-10	-34%	-2.5	-25%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	20	6.9	50	19	7.0	50	16	6.4	47	-4	-20%	-0.5	-8%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	13	4.5	52	14	5.1	51	13	5.2	48	0	0%	0.7	15%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	27	9.3	49	22	8.1	47	22	8.8	47	-5	-19%	-0.6	-6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.7	50	3	1.1	47	4	1.6	48	2	100%	0.9	130%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	2.8	48	12	4.4	52	8	3.2	45	0	0%	0.4	15%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	11	3.8	49	13	4.8	50	14	5.6	46	3	27%	1.8	47%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.4	40	1		0.4	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				15	5.5	43	16	6.4	43	16	7%	0.9	16%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.0	42	3	1.1	42	8	3.2	43	5	167%	2.1	207%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

尾三医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は51,752人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は43人(-8%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は254人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は16%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

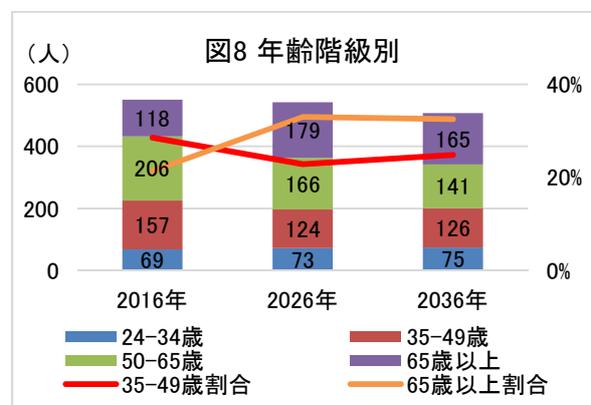
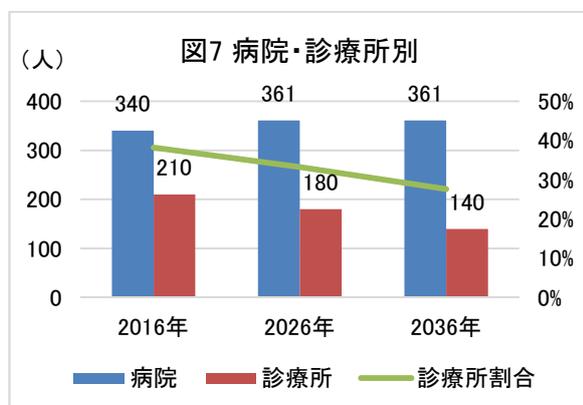
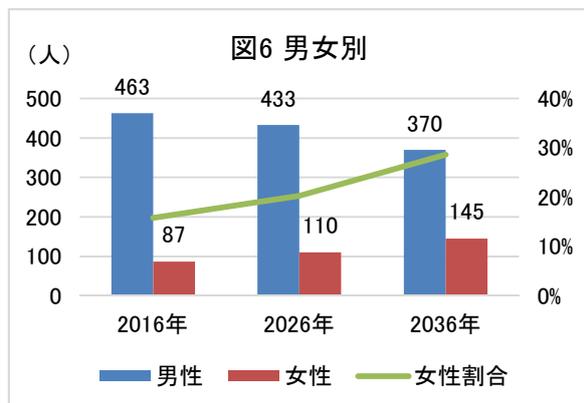
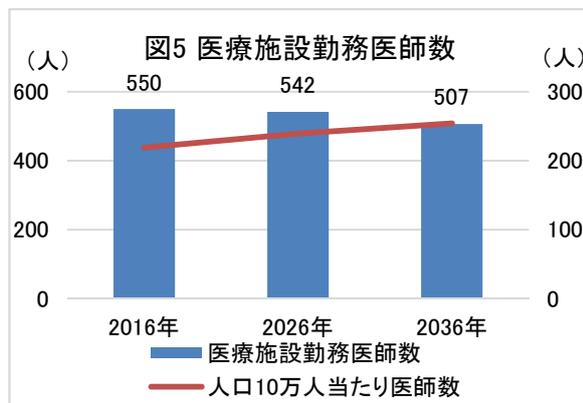
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて93人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に58人(67%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて21人(6%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に70人(-33%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は31人(-20%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて47人(40%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



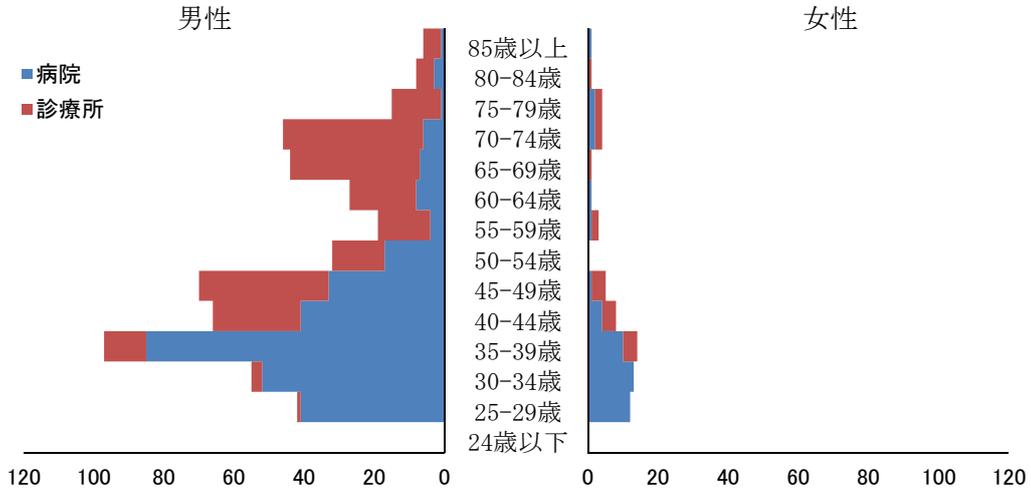
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

尾三医療圏

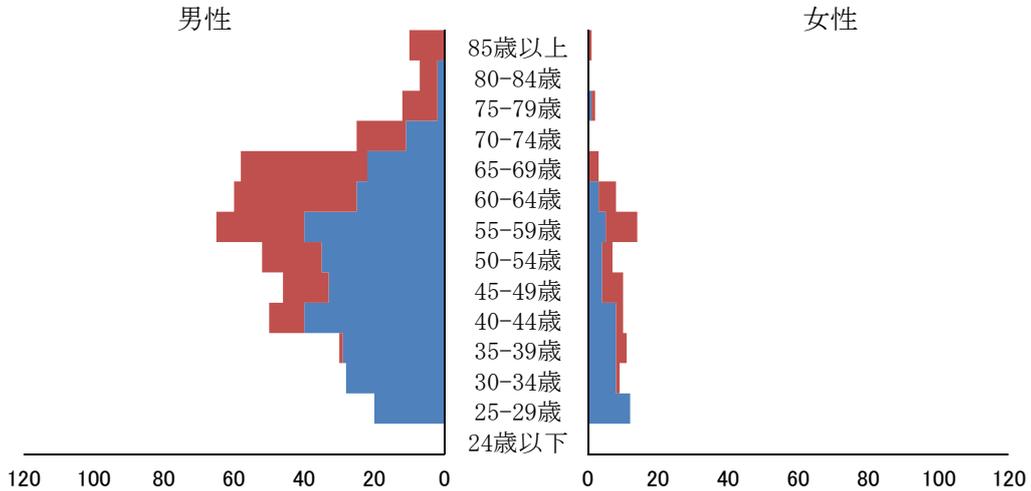
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

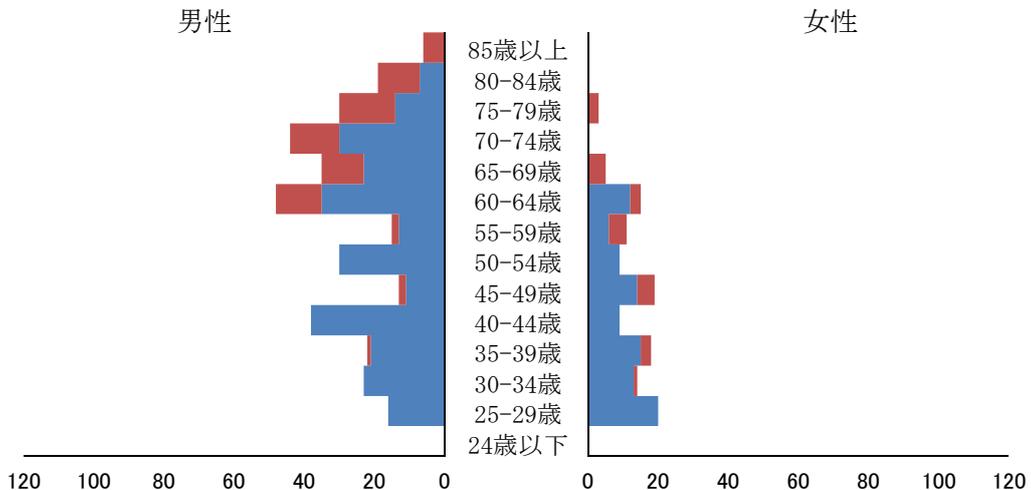
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

尾三医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	251,157	226,245	199,405	-51,752	-21%	-24,912	-10%	-26,840	-12%	
医療施設勤務医師数	550	542	507	-43	-8%	-8	-1%	-35	-6%	
人口10万対	219.0	239.6	254.3	35.3	16%	20.6	9%	14.7	6%	
男性医師数	463	433	370	-93	-20%	-30	-6%	-63	-15%	
人口10万対	184.3	191.4	185.6	1.2	1%	7.0	4%	-5.8	-3%	
女性医師数	87	110	145	58	67%	23	26%	35	32%	
人口10万対	34.6	48.6	72.7	38.1	110%	14.0	40%	24.1	50%	
病院勤務医師数	340	361	361	21	6%	21	6%	0	0%	
人口10万対	135.4	159.6	181.0	45.7	34%	24.2	18%	21.5	13%	
診療所勤務医師数	210	180	140	-70	-33%	-30	-14%	-40	-22%	
人口10万対	83.6	79.6	70.2	-13.4	-16%	-4.1	-5%	-9.4	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	69	73	75	6	9%	4	6%	2	3%
	35-49歳	157	124	126	-31	-20%	-33	-21%	2	2%
	50-64歳	206	166	141	-65	-32%	-40	-19%	-25	-15%
	65歳以上	118	179	165	47	40%	61	52%	-14	-8%
	75歳以上(再掲)	32	51	72	40	125%	19	59%	21	41%
男性	24-34歳	48	51	39	-9	-19%	3	6%	-12	-24%
	35-49歳	126	86	82	-44	-35%	-40	-32%	-4	-5%
	50-64歳	177	138	107	-70	-40%	-39	-22%	-31	-22%
	65歳以上	112	158	142	30	27%	46	41%	-16	-10%
	75歳以上(再掲)	29	49	62	33	114%	20	69%	13	27%
女性	24-34歳	21	22	35	14	67%	1	5%	13	59%
	35-49歳	31	46	58	27	87%	15	48%	12	26%
	50-64歳	29	28	40	11	38%	-1	-3%	12	43%
	65歳以上	6	14	12	6	100%	8	133%	-2	-14%
	75歳以上(再掲)	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
病院	24-34歳	68	72	74	6	9%	4	6%	2	3%
	35-49歳	122	101	102	-20	-16%	-21	-17%	1	1%
	50-64歳	112	113	101	-11	-10%	1	1%	-12	-11%
	65歳以上	38	75	84	46	121%	37	97%	9	12%
	75歳以上(再掲)	5	13	24	19	380%	8	160%	11	85%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	35	24	24	-11	-31%	-11	-31%	0	0%
	50-64歳	94	54	39	-55	-59%	-40	-43%	-15	-28%
	65歳以上	80	101	76	-4	-5%	21	26%	-25	-25%
	75歳以上(再掲)	27	36	42	15	56%	9	33%	6	17%
	85歳以上(再掲)	11	5	7	-4	-36%	-6	-55%	2	40%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福山・府中医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は3,268人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は148人(17%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

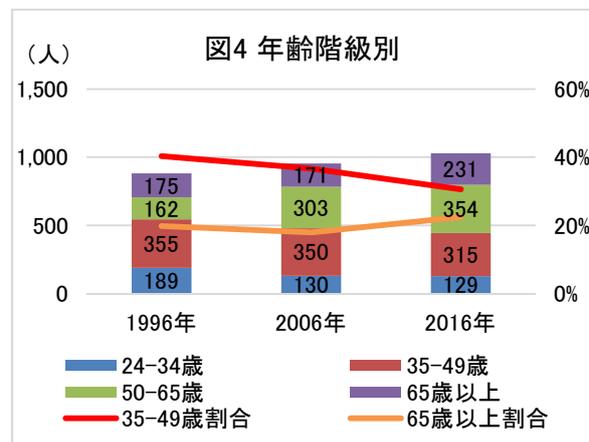
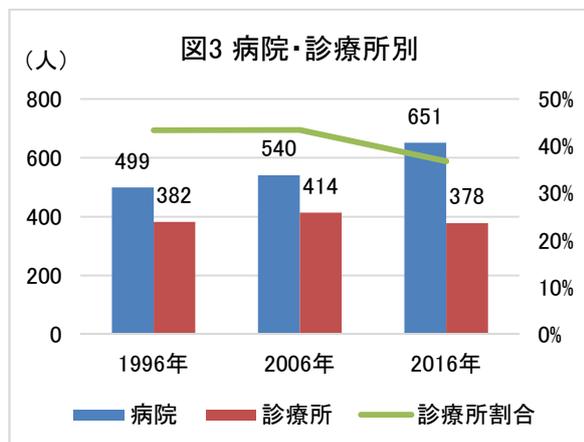
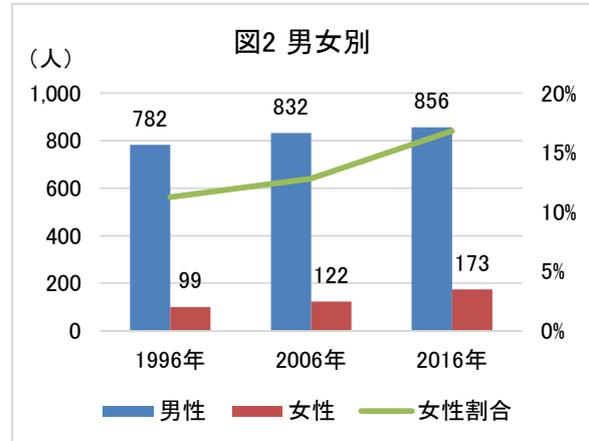
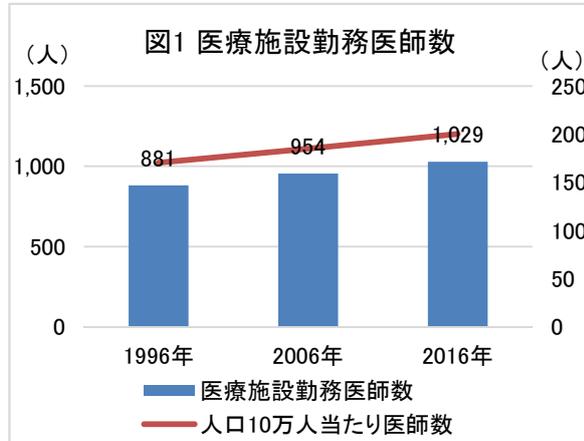
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて74人(9%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に74人(75%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて152人(30%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-1%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は40人(-11%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて56人(32%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

福山・府中医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	517,365	515,865	514,097	-3,268	-1%	-1,500	0%	-1,768	0%	
総医師数	901	985	1,063	162	18%	84	9%	78	8%	
人口10万対	174.2	190.9	206.8	32.6	19%	16.8	10%	15.8	8%	
医療施設勤務医師数	881	954	1,029	148	17%	73	8%	75	8%	
人口10万対	170.3	184.9	200.2	29.9	18%	14.6	9%	15.2	8%	
男性医師数	782	832	856	74	9%	50	6%	24	3%	
人口10万対	151.2	161.3	166.5	15.4	10%	10.1	7%	5.2	3%	
女性医師数	99	122	173	74	75%	23	23%	51	42%	
人口10万対	19.1	23.6	33.7	14.5	76%	4.5	24%	10.0	42%	
病院勤務医師数	499	540	651	152	30%	41	8%	111	21%	
人口10万対	96.5	104.7	126.6	30.2	31%	8.2	9%	22.0	21%	
診療所勤務医師数	382	414	378	-4	-1%	32	8%	-36	-9%	
人口10万対	73.8	80.3	73.5	-0.3	0%	6.4	9%	-6.7	-8%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.7	51.4	53.1	4.4	9%	2.7	6%	1.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	189	130	129	-60	-32%	-59	-31%	-1	-1%
	35-49歳	355	350	315	-40	-11%	-5	-1%	-35	-10%
	50-64歳	162	303	354	192	119%	141	87%	51	17%
	65歳以上	175	171	231	56	32%	-4	-2%	60	35%
	75歳以上(再掲)	51	85	71	20	39%	34	67%	-14	-16%
男性	24-34歳	156	91	95	-61	-39%	-65	-42%	4	4%
	35-49歳	313	304	232	-81	-26%	-9	-3%	-72	-24%
	50-64歳	150	276	315	165	110%	126	84%	39	14%
	65歳以上	163	161	214	51	31%	-2	-1%	53	33%
	75歳以上(再掲)	48	80	66	18	38%	32	67%	-14	-18%
女性	24-34歳	33	39	34	1	3%	6	18%	-5	-13%
	35-49歳	42	46	83	41	98%	4	10%	37	80%
	50-64歳	12	27	39	27	225%	15	125%	12	44%
	65歳以上	12	10	17	5	42%	-2	-17%	7	70%
	75歳以上(再掲)	3	5	5	2	67%	2	67%	0	0%
病院	24-34歳	180	123	128	-52	-29%	-57	-32%	5	4%
	35-49歳	218	240	251	33	15%	22	10%	11	5%
	50-64歳	70	125	187	117	167%	55	79%	62	50%
	65歳以上	31	52	85	54	174%	21	68%	33	63%
	75歳以上(再掲)	14	18	23	9	64%	4	29%	5	28%
診療所	24-34歳	9	7	1	-8	-89%	-2	-22%	-6	-86%
	35-49歳	137	110	64	-73	-53%	-27	-20%	-46	-42%
	50-64歳	92	178	167	75	82%	86	93%	-11	-6%
	65歳以上	144	119	146	2	1%	-25	-17%	27	23%
	75歳以上(再掲)	37	67	48	11	30%	30	81%	-19	-28%
	85歳以上(再掲)	3	8	16	13	433%	5	167%	8	100%

福山・府中医療圏

＜医師数の推移＞

福山・府中医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児科、精神科、整形外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	881	170.3	48	954	184.9	47	1,029	200.2	46	148	17%	29.9	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	373	72.1	49	364	70.6	47	402	78.2	46	29	8%	6.1	8%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	45	8.7	45	45	8.7	44	49	9.5	43	4	9%	0.8	10%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	38	7.3	48	46	8.9	48	47	9.1	44	9	24%	1.8	24%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	132	25.5	55	125	24.2	59	129	25.1	58	-3	-2%	-0.4	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.2	44	3	0.6	49	3		0.6	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	7	1.4	48	9	1.7	48	9	1.8	46	2	29%	0.4	29%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	24	4.6	51	31	6.0	55	26	5.1	47	2	8%	0.4	9%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	66	12.8	49	74	14.3	49	70	13.6	44	4	6%	0.9	7%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	8	1.5	54	9	1.7	52	12	2.3	52	4	50%	0.8	51%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	19	3.7	45	24	4.7	45	20	3.9	41	1	5%	0.2	6%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	40	7.7	48	43	8.3	47	38	7.4	43	-2	-5%	-0.3	-4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	33	6.4	48	35	6.8	49	37	7.2	50	4	12%	0.8	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	18	3.5	47	24	4.7	49	25	4.9	47	7	39%	1.4	40%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	53	10.2	51	47	9.1	50	41	8.0	45	-12	-23%	-2.3	-22%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.4	46	5	1.0	46	8	1.6	47	6	300%	1.2	303%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	1.5	44	17	3.3	48	19	3.7	46	11	138%	2.1	139%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	10	1.9	44	22	4.3	48	32	6.2	48	22	220%	4.3	222%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				4	0.8	46	10	1.9	47	6	150%	1.2	151%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				22	4.3	42	36	7.0	43	36	64%	2.7	64%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	1.0	42	7	1.4	43	16	3.1	43	11	220%	2.1	222%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

福山・府中医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は71,253人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は64人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は247人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

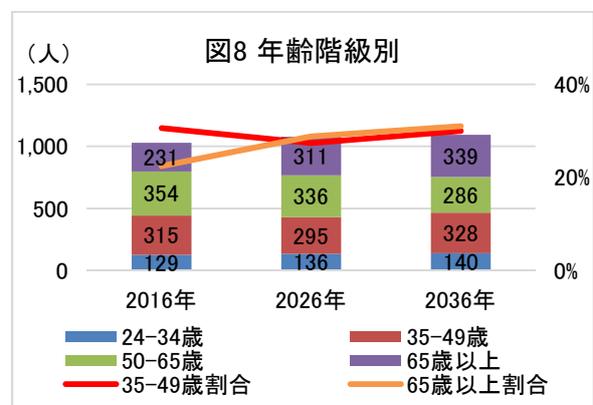
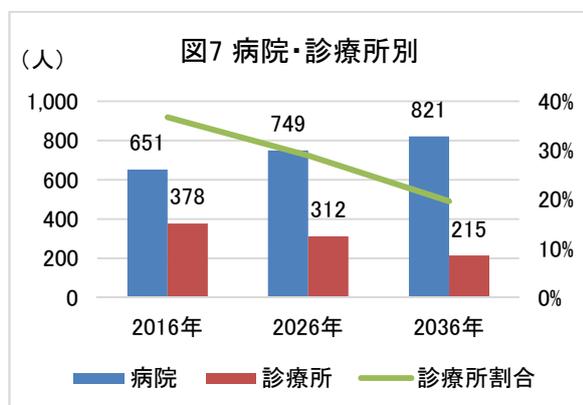
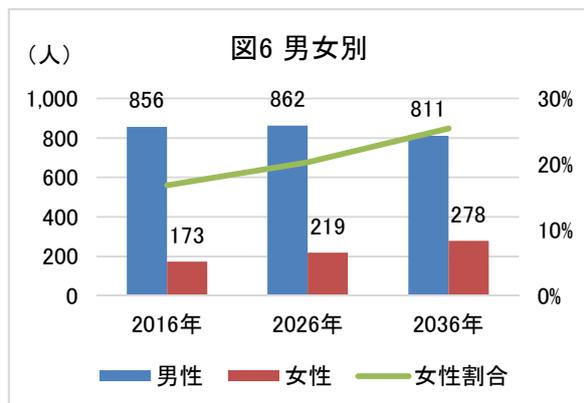
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて45人(-5%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に105人(61%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて170人(26%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に163人(-43%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は13人(4%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて108人(47%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



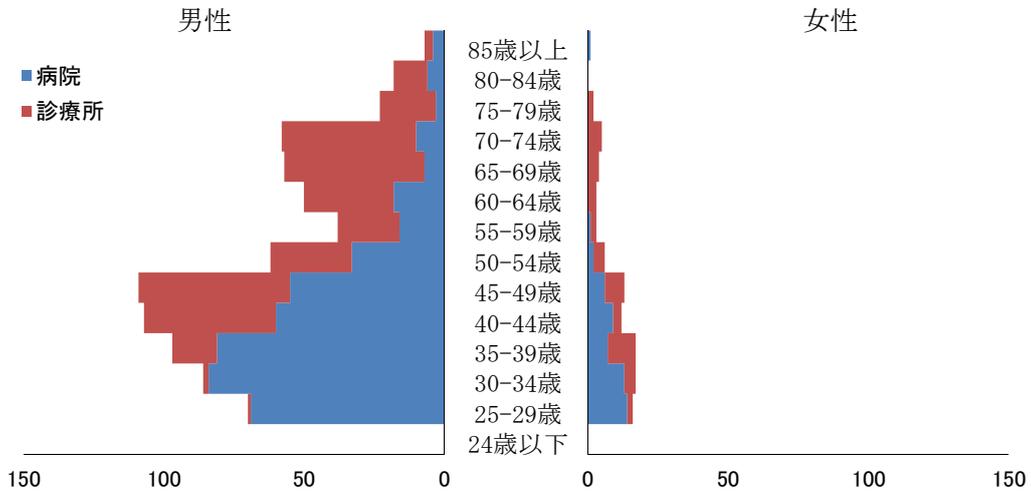
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福山・府中医療圏

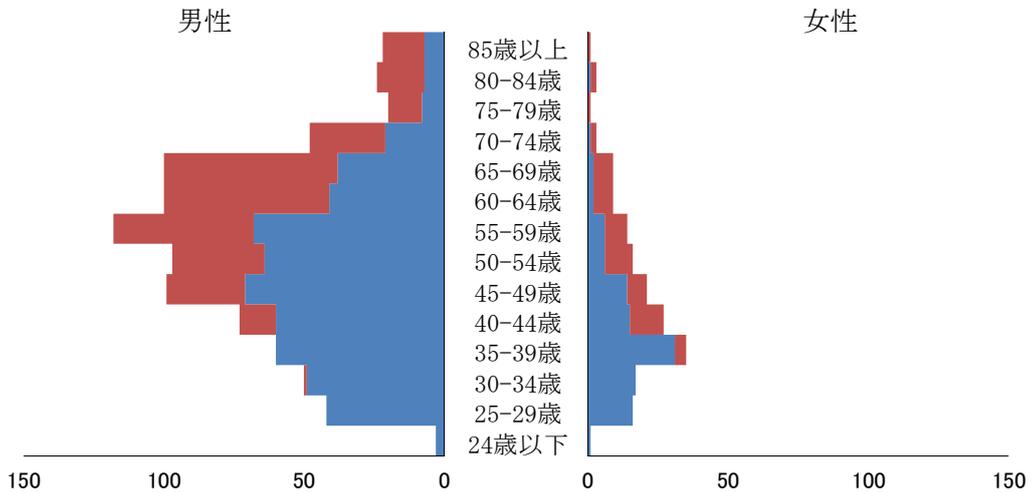
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

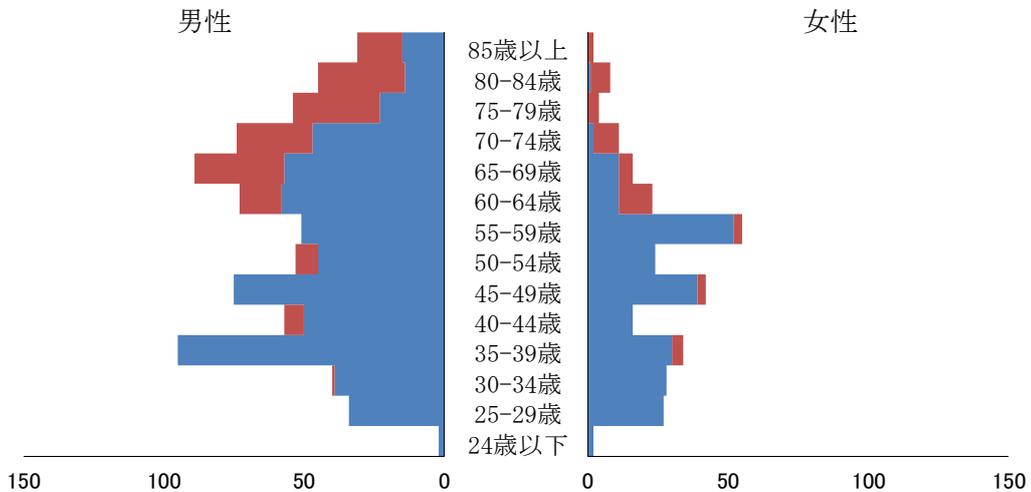
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去（2006年から2016年まで）のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。（ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した）

福山・府中医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	514,097	479,994	442,844	-71,253	-14%	-34,103	-7%	-37,150	-8%	
医療施設勤務医師数	1,029	1,078	1,093	64	6%	49	5%	15	1%	
人口10万対	200.2	224.6	246.8	46.7	23%	24.4	12%	22.2	10%	
男性医師数	856	862	811	-45	-5%	6	1%	-51	-6%	
人口10万対	166.5	179.6	183.1	16.6	10%	13.1	8%	3.5	2%	
女性医師数	173	219	278	105	61%	46	27%	59	27%	
人口10万対	33.7	45.6	62.8	29.1	87%	12.0	36%	17.2	38%	
病院勤務医師数	651	749	821	170	26%	98	15%	72	10%	
人口10万対	126.6	156.0	185.4	58.8	46%	29.4	23%	29.3	19%	
診療所勤務医師数	378	312	215	-163	-43%	-66	-17%	-97	-31%	
人口10万対	73.5	65.0	48.5	-25.0	-34%	-8.5	-12%	-16.5	-25%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	129	136	140	11	9%	7	5%	4	3%
	35-49歳	315	295	328	13	4%	-20	-6%	33	11%
	50-64歳	354	336	286	-68	-19%	-18	-5%	-50	-15%
	65歳以上	231	311	339	108	47%	80	35%	28	9%
	75歳以上(再掲)	71	106	142	71	100%	35	49%	36	34%
男性	24-34歳	95	100	76	-19	-20%	5	5%	-24	-24%
	35-49歳	232	207	244	12	5%	-25	-11%	37	18%
	50-64歳	315	271	194	-121	-38%	-44	-14%	-77	-28%
	65歳以上	214	284	297	83	39%	70	33%	13	5%
	75歳以上(再掲)	66	98	128	62	94%	32	48%	30	31%
女性	24-34歳	34	35	56	22	65%	1	3%	21	60%
	35-49歳	83	91	89	6	7%	8	10%	-2	-2%
	50-64歳	39	66	92	53	136%	27	69%	26	39%
	65歳以上	17	27	41	24	141%	10	59%	14	52%
	75歳以上(再掲)	5	9	15	10	200%	4	80%	6	67%
病院	24-34歳	128	135	139	11	9%	7	5%	4	3%
	35-49歳	251	261	293	42	17%	10	4%	32	12%
	50-64歳	187	226	217	30	16%	39	21%	-9	-4%
	65歳以上	85	127	172	87	102%	42	49%	45	35%
	75歳以上(再掲)	23	38	56	33	143%	15	65%	18	47%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	64	14	14	-50	-78%	-50	-78%	0	0%
	50-64歳	167	109	39	-128	-77%	-58	-35%	-70	-64%
	65歳以上	146	188	161	15	10%	42	29%	-27	-14%
	75歳以上(再掲)	48	72	88	40	83%	24	50%	16	22%
	85歳以上(再掲)	16	11	17	1	6%	-5	-31%	6	55%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

備北医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,834人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は14人(7%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は237人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

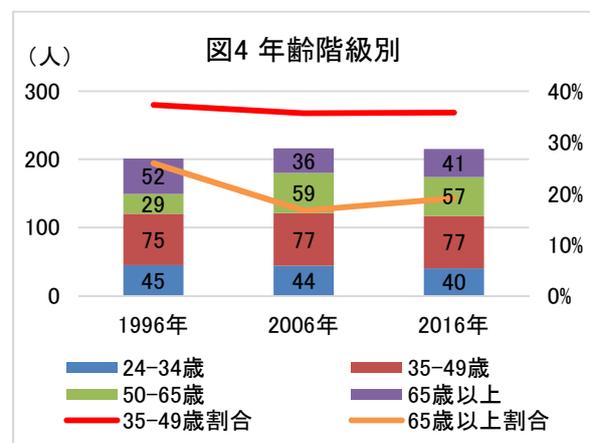
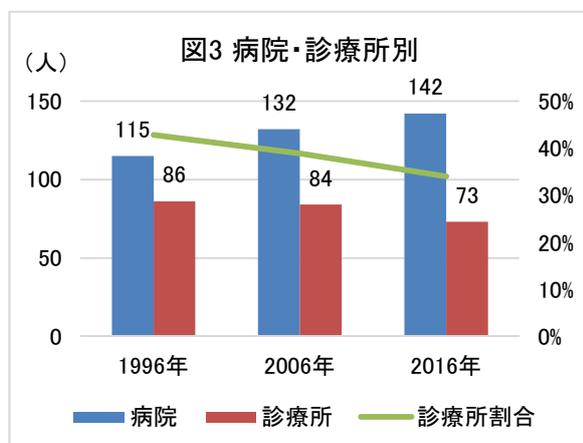
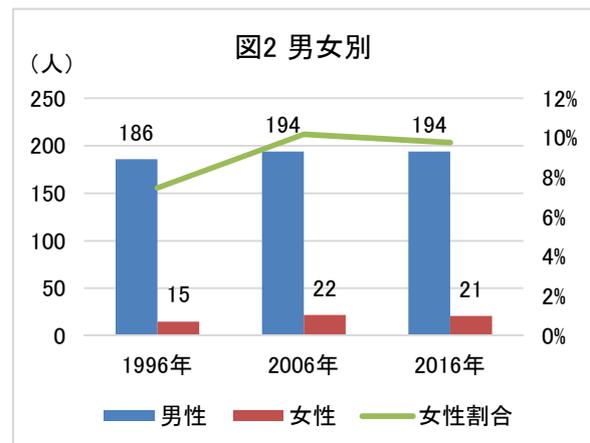
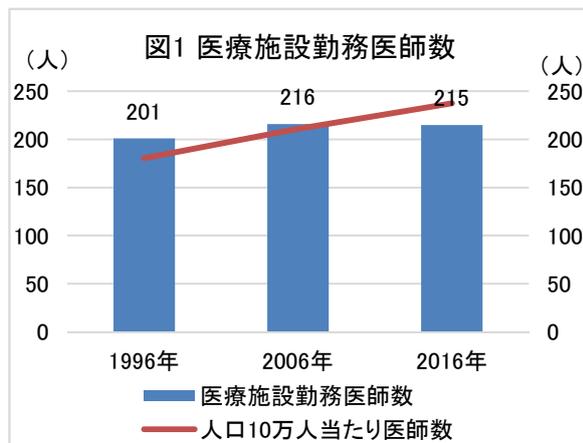
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて8人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(40%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は10%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて27人(23%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に13人(-15%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(3%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて11人(-21%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年26%、2016年19%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

備北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	111,449	102,463	90,615	-20,834	-19%	-8,986	-8%	-11,848	-12%	
総医師数	206	222	218	12	6%	16	8%	-4	-2%	
人口10万対	184.8	216.7	240.6	55.7	30%	31.8	17%	23.9	11%	
医療施設勤務医師数	201	216	215	14	7%	15	7%	-1	0%	
人口10万対	180.4	210.8	237.3	56.9	32%	30.5	17%	26.5	13%	
男性医師数	186	194	194	8	4%	8	4%	0	0%	
人口10万対	166.9	189.3	214.1	47.2	28%	22.4	13%	24.8	13%	
女性医師数	15	22	21	6	40%	7	47%	-1	-5%	
人口10万対	13.5	21.5	23.2	9.7	72%	8.0	60%	1.7	8%	
病院勤務医師数	115	132	142	27	23%	17	15%	10	8%	
人口10万対	103.2	128.8	156.7	53.5	52%	25.6	25%	27.9	22%	
診療所勤務医師数	86	84	73	-13	-15%	-2	-2%	-11	-13%	
人口10万対	77.2	82.0	80.6	3.4	4%	4.8	6%	-1.4	-2%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.8	49.6	50.9	1.1	2%	-0.2	0%	1.3	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	45	44	40	-5	-11%	-1	-2%	-4	-9%
	35-49歳	75	77	77	2	3%	2	3%	0	0%
	50-64歳	29	59	57	28	97%	30	103%	-2	-3%
	65歳以上	52	36	41	-11	-21%	-16	-31%	5	14%
	75歳以上(再掲)	19	24	15	-4	-21%	5	26%	-9	-38%
男性	24-34歳	41	32	32	-9	-22%	-9	-22%	0	0%
	35-49歳	71	73	67	-4	-6%	2	3%	-6	-8%
	50-64歳	28	54	55	27	96%	26	93%	1	2%
	65歳以上	46	35	40	-6	-13%	-11	-24%	5	14%
	75歳以上(再掲)	17	23	15	-2	-12%	6	35%	-8	-35%
女性	24-34歳	4	12	8	4	100%	8	200%	-4	-33%
	35-49歳	4	4	10	6	150%	0	0%	6	150%
	50-64歳	1	5	2	1	100%	4	400%	-3	-60%
	65歳以上	6	1	1	-5	-83%	-5	-83%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	42	39	39	-3	-7%	-3	-7%	0	0%
	35-49歳	48	58	61	13	27%	10	21%	3	5%
	50-64歳	9	22	30	21	233%	13	144%	8	36%
	65歳以上	16	13	12	-4	-25%	-3	-19%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	5	8	8	3	60%	3	60%	0	0%
診療所	24-34歳	3	5	1	-2	-67%	2	67%	-4	-80%
	35-49歳	27	19	16	-11	-41%	-8	-30%	-3	-16%
	50-64歳	20	37	27	7	35%	17	85%	-10	-27%
	65歳以上	36	23	29	-7	-19%	-13	-36%	6	26%
	75歳以上(再掲)	14	16	7	-7	-50%	2	14%	-9	-56%
	85歳以上(再掲)	1	4	2	1	100%	3	300%	-2	-50%

備北医療圏

＜医師数の推移＞

備北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	201	180.4	50	216	210.8	51	215	237.3	50	14	7%	56.9	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	104	93.3	55	114	111.3	61	111	122.5	61	7	7%	29.2	31%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	8.1	44	8	7.8	42	9	9.9	44	0	0%	1.9	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	6.3	46	7	6.8	44	8	8.8	44	1	14%	2.5	41%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	21	18.8	48	22	21.5	55	24	26.5	60	3	14%	7.6	41%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	4.5	50	5	4.9	50	4	4.4	45	-1	-20%	-0.1	-2%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	14	12.6	49	14	13.7	48	16	17.7	52	2	14%	5.1	41%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	4.5	47	7	6.8	52	8	8.8	55	3	60%	4.3	97%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	8.1	49	9	8.8	48	7	7.7	44	-2	-22%	-0.4	-4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	5.4	45	6	5.9	46	5	5.5	44	-1	-17%	0.1	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	3.6	48	4	3.9	46	3	3.3	41	-1	-25%	-0.3	-8%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	8.1	46	7	6.8	44	8	8.8	47	-1	-11%	0.8	9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.0	46	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.8	45	2	2.0	44	3	3.3	45	1	50%	1.5	84%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	4.5	51	5	4.9	50	7	7.7	51	2	40%	3.2	72%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	4.9	43	0	0.0	36	0	-100%	-4.9	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.9	42	0	0.0	40	2	2.2	41	1	100%	1.3	146%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

備北医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は20,838人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は5人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は301人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

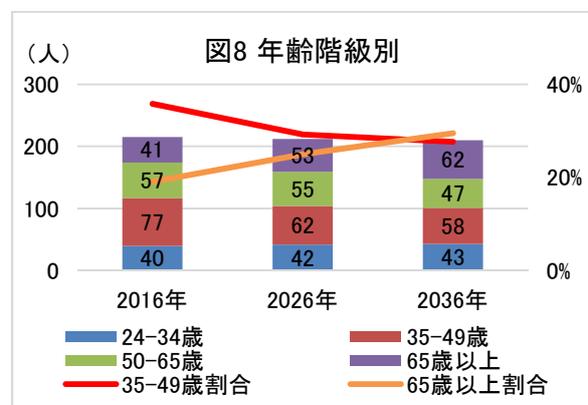
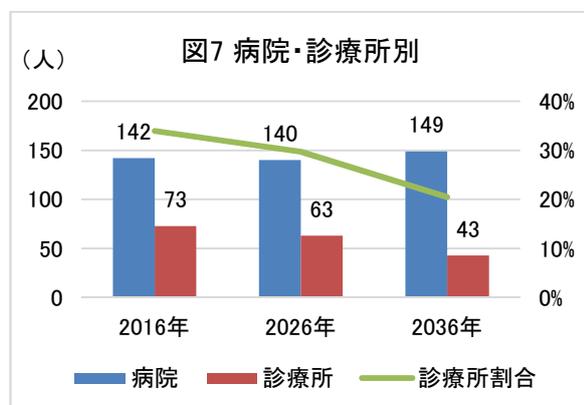
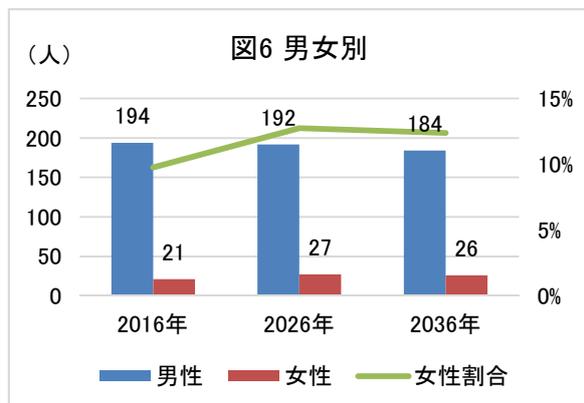
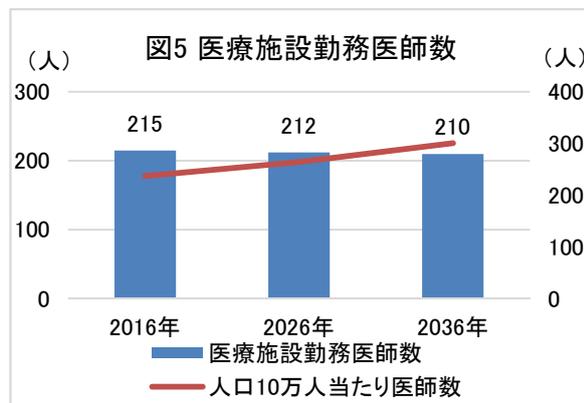
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて10人(-5%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(24%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(5%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に30人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は19人(-25%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて21人(51%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



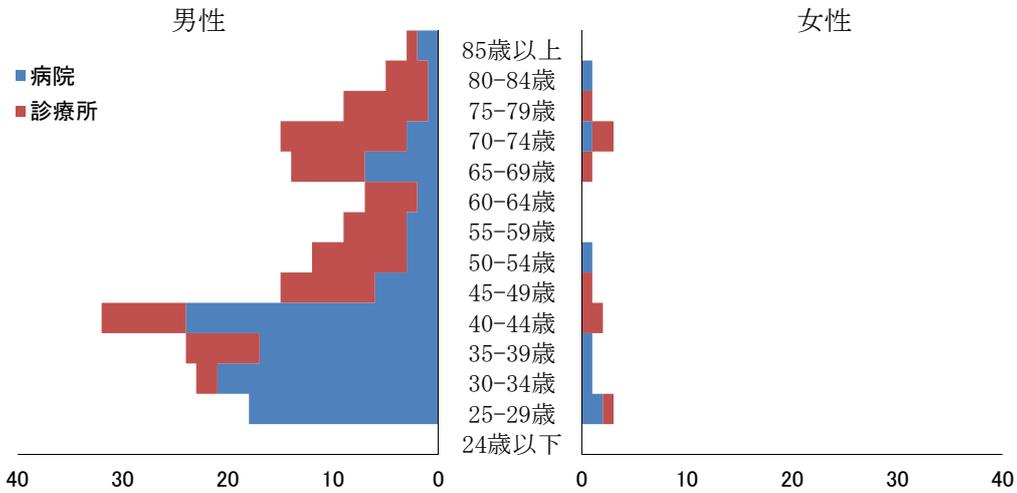
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

備北医療圏

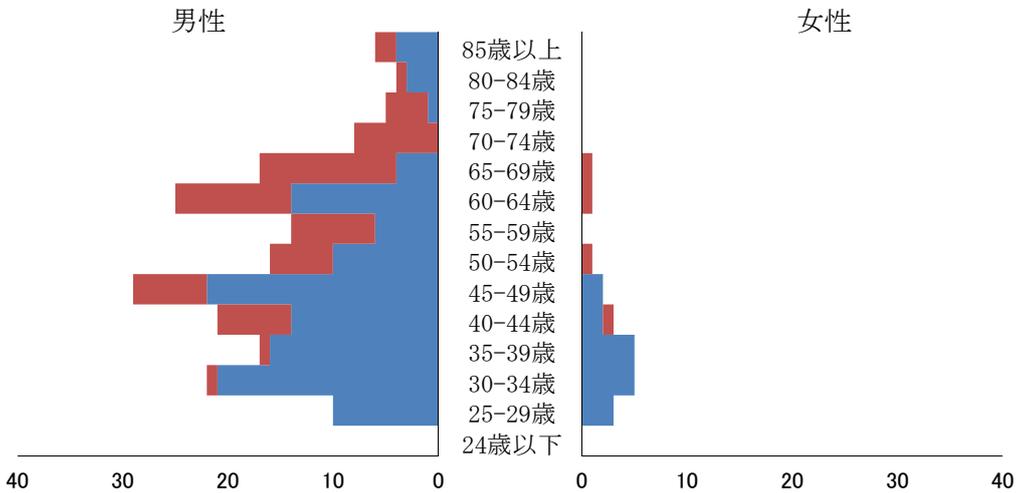
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

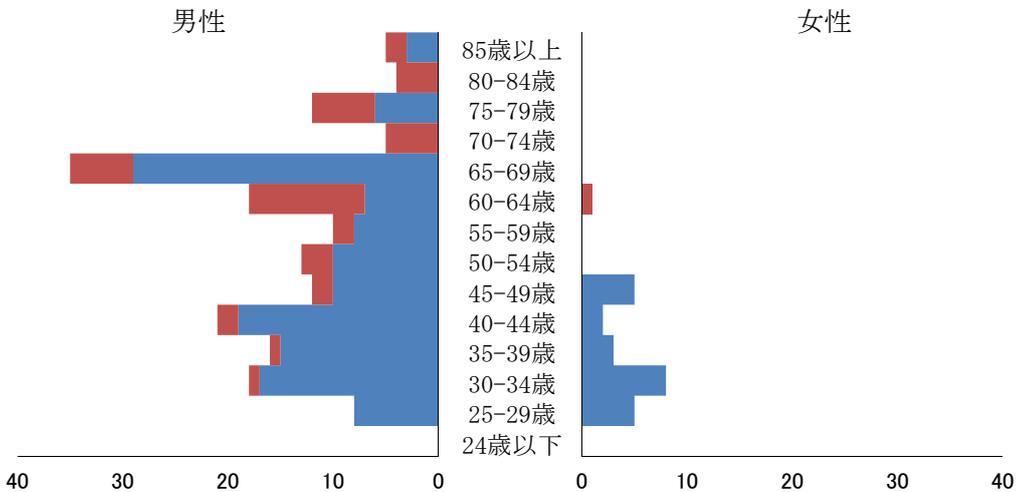
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

備北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	90,615	80,126	69,777	-20,838	-23%	-10,489	-12%	-10,349	-13%	
医療施設勤務医師数	215	212	210	-5	-2%	-3	-1%	-2	-1%	
人口10万対	237.3	264.6	301.0	63.7	27%	27.3	12%	36.4	14%	
男性医師数	194	192	184	-10	-5%	-2	-1%	-8	-4%	
人口10万対	214.1	239.6	263.7	49.6	23%	25.5	12%	24.1	10%	
女性医師数	21	27	26	5	24%	6	29%	-1	-4%	
人口10万対	23.2	33.7	37.3	14.1	61%	10.5	45%	3.6	11%	
病院勤務医師数	142	140	149	7	5%	-2	-1%	9	6%	
人口10万対	156.7	174.7	213.5	56.8	36%	18.0	11%	38.8	22%	
診療所勤務医師数	73	63	43	-30	-41%	-10	-14%	-20	-32%	
人口10万対	80.6	78.6	61.6	-18.9	-24%	-1.9	-2%	-17.0	-22%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	40	42	43	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	77	62	58	-19	-25%	-15	-19%	-4	-6%
	50-64歳	57	55	47	-10	-18%	-2	-4%	-8	-15%
	65歳以上	41	53	62	21	51%	12	29%	9	17%
	75歳以上(再掲)	15	23	29	14	93%	8	53%	6	26%
男性	24-34歳	32	34	26	-6	-19%	2	6%	-8	-24%
	35-49歳	67	52	52	-15	-22%	-15	-22%	0	0%
	50-64歳	55	53	42	-13	-24%	-2	-4%	-11	-21%
	65歳以上	40	53	64	24	60%	13	33%	11	21%
	75歳以上(再掲)	15	22	29	14	93%	7	47%	7	32%
女性	24-34歳	8	8	13	5	63%	0	0%	5	63%
	35-49歳	10	16	11	1	10%	6	60%	-5	-31%
	50-64歳	2	3	2	0	0%	1	50%	-1	-33%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	39	41	42	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	61	52	50	-11	-18%	-9	-15%	-2	-4%
	50-64歳	30	33	29	-1	-3%	3	10%	-4	-12%
	65歳以上	12	14	28	16	133%	2	17%	14	100%
	75歳以上(再掲)	8	6	7	-1	-13%	-2	-25%	1	17%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	5	5	-11	-69%	-11	-69%	0	0%
	50-64歳	27	23	13	-14	-52%	-4	-15%	-10	-43%
	65歳以上	29	34	24	-5	-17%	5	17%	-10	-29%
	75歳以上(再掲)	7	16	13	6	86%	9	129%	-3	-19%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)